

2024年 研究業績

〔Researches and Social Works in 2024〕

研 究 業 績

■ 河 田 恵 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称,「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁,査読有の場合はその旨
(学術論文)				
変貌する災害列島と縮災 No92 これからの洪水対策は、川幅を拡げることが肝要	単著	2024年 1 月 1 日	ウォータアンドライフ社	Water & Life No.692, p.22
水損したEV などから出火し大火災に 巨大災害時に新たな相転移発生の懸念	単著	2024年 1 月15日	日本経済新聞社	日経グローバル No.476, pp.56-57
変貌する災害列島と縮災 No94 なぜ、わが国の大学の研究力は低下し続けるのか	単著	2024年 2 月 1 日	ウォータアンドライフ社	Water & Life No.694, p.22
「複合被災」という相転移が発生 能登半島地震から学ぶべきこと	単著	2024年 2 月19日	日本経済新聞社	日経グローバル No.478, pp.56-57
建物の防災・減災をどう進めるのか——国難災害に向けた耐震化——	単著	2024年 3 月 1 日	ぎょうせい	ガバナンス No.275, pp.16-18
能登半島地震の新教訓 (1) 複数の相転移の同時発生	単著	2024年 3 月 1 日	ウォータアンドライフ社	Water & Life No.695, p.22
巻頭言	単著	2024年 3 月 1 日	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構	21世紀ひょうご Vol.36, pp.1-2
巻頭インタビュー「相転移」を防ぐ	単著	2024年 3 月11日	一般社団法人 廃棄物資源循環学会	循環とくらし 第12号, pp.2-9
もっと増える災害関連死の推計値 現実的には難しいすばやい津波避難	単著	2024年 3 月18日	日本経済新聞社	日経グローバル No.480, pp.60-61
能登半島地震の新教訓 (2) 相転移は一つとは限らない	単著	2024年 4 月 1 日	ウォータアンドライフ社	Water & Life No.696, p.22
国難災害に備えはあるか——能登半島地震の教訓——	単著	2024年 4 月 1 日	日本会議	日本の息吹 第436号, pp.6-12
日本が災害大国であり続けるのはなぜか 研究成果が施策に反映されない構図に原因	単著	2024年 4 月15日	日本経済新聞社	日経グローバル No.482, pp.40-41
ニュー レジリエンス フォーラムの国民運動の展開	単著	2024年 5 月 1 日	ウォータアンドライフ社	Water & Life No.697, p.22
「創造的復興」から「未来社会のデザイン」へ	単著	2024年 5 月 1 日	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構	研究レター Hem21オピニオン Vol.83, p.1
過去の災害を振り返る 第24回 津波や高潮災害に対する地域防災力を高める	単著	2024年 4 月15日	一般財団法人 日本防火・防災協会	地域防災 No.55, pp.34-37
わが国の防災政策のあるべき姿——関東大震災100年を有為にするために——	単著	2024年 4 月 1 日	政策研究センター	日本の住宅都市 '23, pp.12-19
信頼性を失った木造住宅の耐震補強の方法	単著	2024年 6 月 1 日	ウォータアンドライフ社	Water & Life No.698, p.22
首都直下地震と南海トラフ 巨大地震への備えと創造的復興 国難災害に対処できる「相転移」と DX	単著	2024年 5 月 1 日	株式会社 内外ニュース	月刊 世界と日本 No.1358, 1359, 1360 合併号, pp.1-12
南海トラフなど国難災害 甚大な被害を防ぐ事前対策を	単著	2024年 5 月20日	日本経済新聞社	日経グローバル No.484, pp.84-85
気候変動がもたらす最近の水害とその縮災	単著	2024年 5 月20日	一般社団法人 消防防災科学センター	消防防災の科学 春季号 No.156, pp.6-11
国難級災害の減災対策を成功に導く 2つの大震災の経験	単著	2024年 6 月20日	公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構	日本と世界の課題 2024, p.111
水俣病をなぜ終結させようとしなかったのか？	単著	2024年 7 月 1 日	ウォータアンドライフ社	Water & Life No.699, p.22
防災・減災の日常化を目指す「ニュー・レジリエンス」	単著	2024年 6 月17日	日本経済新聞社	日経グローバル No.486, pp.84-85
安全保障に必要な国難災害の視点 国力の低下で平和維持にも暗雲	単著	2024年 7 月15日	日本経済新聞社	日経グローバル No.488, pp.42-43

「創造的復興」から「未来社会のデザイン」へ	単著	2024年5月	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構	研究レター Hem21オピニオン Vol.83
『継続は力なり』を実践する～コラム100回執筆に思う	単著	2024年8月1日	ウオータアンドライフ社	Water & Life No.700, p.22
南海トラフ巨大地震が起きれば東アジアのパワーバランスも変化	単著	2024年8月19日	日本経済新聞社	日経グローバル No.490, pp.54-55
気候変動によって、今後さらに危険になる高潮災害～1991年バングラデシュ高潮災害を教訓として	単著	2024年8月25日	一般社団法人 日本防火・防災協会	地域防災 No.57, pp.34-37
防災100年えほんプロジェクト	単著	2024年8月25日	一般財団法人 日本消防設備安全センター	月刊フェスク No.515, pp.2-9
忘れられない大学教授の最初の講義	単著	2024年9月1日	ウオータアンドライフ社	Water & Life No.701, p.22
国難災害の被害を抑えるには想定被害などの国際的周知が必須だ	単著	2024年9月16日	日本経済新聞社	日経グローバル No.492, pp.54-55
海岸や海にもっと国民的関心を引きつけよう！	単著	2024年10月1日	ウオータアンドライフ社	Water & Life No.702, p.22
南海トラフ巨大地震を乗り切るためには近年の災害の特徴と縮災対策、そして創造的復興	単著	2024年10月1日	産経新聞社	月刊 正論 通巻638号, pp.138-145
	単著	2024年10月1日	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構	21世紀ひょうご Vol.24, pp.2-19
情報過多で埋もれる真に役立つ情報 科学的でない情報が必要なケースも	単著	2024年10月21日	日本経済新聞社	日経グローバル No.494, pp.46-47
高齢者にとって被災体験は平均余命を短くするのではないのか	単著	2024年11月1日	ウオータアンドライフ社	Water & Life No.703, p.22
防災省の創設・機能には何が必要か 憲法の緊急事態条項に災害明記を	単著	2024年11月18日	日本経済新聞社	日経グローバル No.496, pp.52-53
期待したい防災庁（省）の創設	単著	2024年12月1日	ウオータアンドライフ社	Water & Life No.704, p.22
令和6年（2024年）能登半島地震による停電と災害関連死および企業生産活動への影響	単著	2024年12月1日	日本自然災害学会	自然災害科学 Vol.43, No.3, pp.449-458
南海トラフ地震発生なら万博会場では何が起こるのか	単著	2024年12月16日	日本経済新聞社	日経グローバル No.498, pp.46-47
「国家100年の計」を見すえた議論をいまこそ起こせ	単著	2024年12月18日	新建新聞社	危機管理白書2025, pp.36-39
（その他、論考・研究資料等）				
耐震化遅れ、被害拡大か		2024年1月5日	読売新聞	
震度4以上受けた木造 耐震診断必要		2024年1月8日	朝日新聞	
災害と向き合い暮らす		2024年1月10日	産経新聞	
「想定外の被害」備えよ		2024年1月12日	夕刊フジ	
「タモリステーション」緊急生放送 緊急検証 2024年年明けを襲った衝撃と奇跡		2024年1月13日	テレビ朝日	
初期段階の司令塔必要		2024年1月16日	東奥日報	
自治体中心の減災に限界		2024年1月16日	岩手日報	
初期段階の司令塔必要		2024年1月16日	徳島新聞	
初期段階の司令塔必要		2024年1月16日	共同通信（南日本新聞など地方紙50社に配信）	
県民会議が「安全の日宣言」		2024年1月17日	神戸新聞	
災害と向き合い暮らす		2024年1月17日	産経新聞	
阪神大震災29年 能登に教訓は生きたか		2024年1月17日	中日新聞	
避難場所5000か所に津波リスク5m以上浸水700カ所		2024年1月17日	日本経済新聞社電子版	

研 究 業 績

ほうさい甲子園 成果と思いは財産 被災初期段階、政府主導の対応必須 初期段階の司令塔必要 1.1大震災日本海側からのSOS初動を検証する 群発地震3年超 耐震進まず 顕在化した課題 防災の専門家に聞く DRAフォーラム 総括「継続は力」日頃の備え重要 「防災省」創設すべき 五百旗頭真さん死去、「阪神」の教訓継承に尽力 新たな南海トラフ地震対策を考える 日頃から“万一”を考えておくそれこそが一番の備え 科学の扉「回復力」伴う防災をめざせ 続く余震 巨大災害に備えよ よぎる南海トラフ 備え急務 五百旗頭理事長追悼 復興へ使命感 奈良県災害応急対策検討部会 広域防災を議論 防災ブック 関大初等部 大阪北部地震6年 SOSは届いたか「見せる復興」に知恵集めよ 五百旗頭理事長 偲ぶ会 日々小論 五百旗頭真さんの「希望」 人と防災未来センター「防災資産」に 防災省賛否 総裁候補熱く 人と防災未来センター 来館1000万人を達成 人と防災未来センター 来館1000万人を達成 災害に備え、復興担う「防災省」はできるのか 強靱な国土づくりの道筋「災害文化の定着が鍵」 万博の防災計画の評価について 想像を絶する災害に備えよ 能登半島地震1年 復旧道半ば一層の支援を		2024年1月19日 毎日新聞 2024年1月22日 神戸新聞 2024年1月22日 静岡新聞 2024年1月22～26日、2月5日 北國新聞 2024年2月1日 読売新聞 2024年2月1日 月刊BCPリーダーズ、リスク対策.com 2024年2月2日 朝日新聞 2024年2月5日 北國新聞 2024年3月8日 読売新聞 2024年3月8日 徳島新聞 2024年3月8日 サンケイリビング新聞 2024年3月10日 日本経済新聞 2024年3月11日 産経新聞 2024年4月9日 神戸新聞 2024年4月25日 読売新聞 2024年4月25日 奈良新聞、産経新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞 2024年6月18日 産経新聞 2024年7月1日 北國新聞 2024年7月28日 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞 2024年7月30日 神戸新聞 2024年9月6日 神戸新聞 2024年9月17日 神戸新聞 2024年9月24日 毎日新聞 2024年9月24日 読売新聞 2024年9月26日 東京新聞オンライン 2024年9月27日 日刊建設工業新聞 2024年10月22日 朝日放送「ニュースおかえり」 2024年11月13日 産経新聞 2024年12月31日 北海道新聞		
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招待講演) 気候変動と防災	単独	2024年2月1日	創価学会	関西青年部SDGs連続講座、於関西池田記念会館
最近の水害の変化と防災	単独	2024年2月5日	寝屋川市議会事務局	河北市議会議員合同研修会、於アスカスホール
「相転移」を利用した人新災(国難災害)の阻止	単独	2024年2月9日	「震災対策技術展」事務局	震災対策技術展横浜、於パシフィコ横浜
防災省(庁)創設の提案	単独	2024年2月9日	関西広域連合	震災対策技術展横浜、於パシフィコ横浜
日本に大災害の備えはあるか	単独	2024年2月15日	自民党富山県連	国民の命と生活を守る富山大会、於富山国際会議場
危機管理総論	単独	2024年3月3日	日本危機管理士機構	危機管理士2級、於ワイム貸会議室

災害に役に立つ危機管理～事前対応と事後対応～	単独	2024年3月4日	尼崎市南職域防犯協議会	防犯・防災フォーラム2024, 於尼崎商工会議所
新たな南海トラフ地震対策を考える	単独	2024年3月7日	共同通信社政経懇話会	滴翠クラブ3月例会, 於徳島新聞社ホール
震災のリスク, 企業はどう備えるべきか	単独	2024年3月12日	日本経済研究センター	ウェブセミナー, Zoom ウェビナーによるライン配信
南海トラフ巨大地震に企業はどう立ち向かうべきか	単独	2024年3月15日	広島経済同友会	卓話, 於人と防災未来センター
男女共同参画の視点から考える防災の話	単独	2024年3月16日	奈良県王寺町	防犯防災・男女共同参画連携事業 講演会, 於地域交流センター
BCP(事業継続計画)セミナー 縮災対策編～パンデミック・新しい働き方時代に合わせた災害文明から災害文化への転換～	単独	2024年3月21日	NTT ドコモ	NTTcom セミナー, 於NTT 西日本研修センター
最近の気象災害の特徴と防災	単独	2024年3月22日	大阪ビルメンテナンス協会	警備防災部会 講演会, 於江戸堀フコク生命ビル
南海トラフ地震への備え	単独	2024年3月25日	泉佐野商工会議所	防災講演, 於泉佐野商工会議所
能登半島地震の新たな教訓と被害軽減対策	単独	2024年4月5日	共同通信社	となみ政経懇話会4月例会, 於TONAMI 翔稟館
危機管理Ⅱ(災害危機管理)	単独	2024年5月20日	消防大学校	危機管理・国民保護コース, 於消防大学校
災害に強い木造住宅をめざす!	単独	2024年5月21日	日本ツーバイフォー建築協会	関西支部防災講演, 於建設交流館
災害多発・激化時代の企業経営とBCP	単独	2024年5月24日	北陸産業倶楽部	定例会 講演, 於都市センターホテル
社会現象の「相転移」を発見して被害想定を激減させる	単独	2024年5月31日	防犯防災総合展事務局	防犯防災総合展, 於インテックス大阪
「自然災害」と「感染症」を日本国憲法に明記する	単独	2024年5月31日	関西広域連合	防犯防災総合展, 於インテックス大阪
地域活動やボランティア活動に役立つ防災の知識(災害時, 地域で中心的な皆さまに求められるもの)	単独	2024年6月4日	日本赤十字社大阪支部	令和6年度ボランティア研修, 於大阪赤十字会館
南海地震などの発生メカニズムと被害の軽減	単独	2024年6月12日	愛媛政経懇話会	6月例会, 於ホテルマイルズデイズ松山
人新災としての国難災害の相転移を骨抜きにする	単独	2024年6月19日	JAPIC	防災委員会, 於鉄鋼会館
日本に大災害の備えはあるのか	単独	2024年6月22日	奈良県看護連盟	通常総会, 於グランメルキュール橿原
危機対応組織論	単独	2024年6月26日	人と防災未来センター	春期災害専門研修AD講義, 於人と防災未来センター
巨大地震災害と企業の防災	単独	2024年6月29日	日本経営倫理学会	第32回統一論題シンポジウム, 於高槻ミューズキャンパス
世界で多発・激化する災害に国際貢献できる防災技術	単独	2024年7月4日	震災対策技術展事務局	震災対策技術展大阪, マイドームおおさか
住宅の全壊・倒壊は災害関連死を増やさないのか	単独	2024年7月4日	LSO	震災対策技術展大阪, マイドームおおさか
気候変動に伴う自然災害の変化と社会の対応	単独	2024年7月6日	沼津市	沼津市民大学, 於沼津市民文化センター
京都で今, 心配な自然災害	単独	2024年7月8日	(公財) 京都SKY センター	京都SKY シニア大学, 於京都テルサホール
日本に大災害の備えはあるのか	単独	2024年7月15日	日本会議	日本会議兵庫第25回総会記念行事, 於芦屋ルナホール
奈良県における防災対策を考える	単独	2024年7月22日	奈良県町村議会議長会	講演, 於あらかしホール
震災30年を迎えて	単独	2024年7月29日	人と防災未来センター	人防ボランティア・友の会向け講演会
震災時の対応・危機管理について	単独	2024年8月1日	鹿児島県市町村振興協会	「令和6年度市町村政研修会」, 於川商ホール
これからの防災・減災・縮災の考え方	単独	2024年8月2日	日本看護協会	「看護管理者に必要な災害時におけるマネジメント」研修, オンデマンド9月20日～12月13日

研 究 業 績

国難災害に備える新たな企業防災	単独	2024年 8 月13日	防災ログ	防災・減災オンラインセミナー，10月1～30日ウェブサイト公開
危機管理総論	単独	2024年 8 月25日	日本危機管理士機構	危機管理士講義，ワイム貸会議室
愛媛県における自然災害とその対応	単独	2024年 8 月26日	愛媛県	トップフォーラム愛媛，於NOSAIえひめ
自治体と企業に必要な地震災害の危機管理	単独	2024年 9 月 4 日	北日本新聞社	TOYAMABOUSAI フォーラム，於富山県防災危機管理センター
国難（パンデミック含む）と地域の災害に備える	単独	2024年 9 月 7 日	兵庫県広域防災センター	ひょうご防災リーダー養成講座，於兵庫県広域防災センター
「国難災害に備えはあるか」	単独	2024年 9 月 7 日	日本会議大阪・神政連大阪地方議員懇談会	令和6年度総会・研修会，於エル・おおさか
南海トラフ巨大地震への不動産業界の備え	単独	2024年 9 月13日	一般社団法人不動産協会	関西支部月例会，於住友クラブ
国家防災政策論	単独	2024年 9 月14日	国際都市研究学院	講義，於国際都市研究学院
社会現象としての「相転移」の発生を事前に発見する	単独	2024年 9 月18日	JAPIC	防災委員会，於鉄鋼会館
能登半島地震の教訓を市民生活に生かす	単独	2024年 9 月28日	春日井市	春日井安全アカデミー，於春日井市役所
テーマ「住みよい街づくり・地域づくり～防災の観点から」	単独	2024年 9 月29日	日本母親大会	分科会，於和歌山城ホール
地域活動やボランティア活動に役立つ防災の知識（災害時，地域で中心的な皆さまに求められるもの）	単独	2024年10月 3 日	日本赤十字社	大阪支部R6年度ボランティア研修，於大阪赤十字会館
大阪中心部における地震と浸水被害を避ける～医薬界を中心とした被害予防の試みとBCM～	単独	2024年10月 5 日	大阪市東歯科医師会	学術講演会，於国民会館
日本の自然災害	単独	2024年10月10日	JICA	研修，於JICA 関西
「行政の災害対策と危機管理」，「自主防災活動と地区防災計画」	単独	2024年10月13日	NTT ExC パートナー	防災士育成研修，於PRISM（旧：NTT 西日本研修センター）
国家防災政策論	単独	2024年10月16日	国際都市研究学院	講義，於国際都市研究学院
国家防災政策論	単独	2024年10月23日	国際都市研究学院	講義，於国際都市研究学院
世界で多発・激化する災害に国際貢献できる防災技術	単独	2024年10月26日	健康まちづくり推進協会	防災市民サミット，於あすてっぶ神戸
南海トラフ地震について	単独	2024年10月27日	阪神開業獣医師会	講演会，於兵庫県動物愛護センター
阪神・淡路大震災から30年を経て学ぶべき教訓～地震災害の歴史性と地域性～	単独	2024年11月 8 日	神戸市中央消防署	中央・水上防災講演会，於神戸三宮東急REI ホテル
『防災総論Ⅰ』『防災総論Ⅱ』	単独	2024年11月 9 日	福岡市役所	博多あんあん塾，於福岡市役所
国難災害が起これば日本は衰退する	単独	2024年11月16日	四日市市	四日市市防災大学，於四日市市総合会館
能登から世界へ～巨大災害を事前に「相転移」で防ぐ～	単独	2024年11月21日	RX ジャパン（株）	オフィス防災EXPO 展示会，於インテックス大阪
南海トラフ巨大地震が起こると中央区の市民生活はどのように変化するのか	単独	2024年11月23日	大阪市中央区	大阪市中央区防災講演会，於J:COM 中央区民センターホール
事前対策で南海トラフ地震の被害を激減する知恵	単独	2024年11月24日	三重県	昭和東南海地震80年・みえ防災・減災センター10周年シンポジウム，於三重県総合文化センター
防災，減災，いま災害に備えて何が必要か？	単独	2024年11月30日	大阪から公害をなくす会	大阪から公害をなくす会「第35回環境学校」，於大阪民医連会議室
防災庁について（1）	単独	2024年12月 2 日	JAPIC	JAPIC 防災委員会，於鉄鋼会館
都市防災を考える～水害に備える～	単独	2024年12月 3 日	大阪府都島区	都島区社会福祉協議会防災講演会，於都島区民センター
大震災を乗り越えるために～南海トラフ巨大地震に備える～	単独	2024年12月 7 日	八幡市	八幡市イヤーエンドレクチャー講演会，於八幡市立生涯学習センター
BCPセミナー 多重被災への備え編～社会現象の「相転移」を活用した災害文明から災害文化への転換～	単独	2024年12月11日	NTT ドコモ	NTTcom セミナー，於NTT 西日本研修センター
阪神淡路大震災その時私たちは！（被災地の中で専門家が見た都市大震災）	単独	2024年12月14日	日本損害保険協会	地震防災・減災シンポジウム，於人と防災未来センター

	単独	2024年12月18日	青森県	トップフォーラム青森，於青森県総合社会教育センター
巨大地震や集中豪雨等に伴う防災・減災	単独	2024年12月25日	阪神電鉄	阪神電鉄工務部安全協力会特別講演，於阪神電気鉄道(株)内
防災庁構想を機に考える 日本の危機管理の課題とこれから	単独	2024年12月26日	新建新聞社	「危機管理白書2025」発刊セミナー特別講演，於TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
台風・高潮	単独	2024年1月11日	関西大学	第5回河田防災塾，於関西大学梅田キャンパス
洪水	単独	2024年2月8日	関西大学	第6回河田防災塾，於関西大学梅田キャンパス
土砂災害	単独	2024年3月13日	関西大学	第7回河田防災塾，於関西大学梅田キャンパス
河田防災塾の開講に当たって	単独	2024年9月19日	関西大学	第1回河田防災塾，於関西大学梅田キャンパス
自治体の危機管理（Ⅰ）	単独	2024年10月24日	関西大学	第2回河田防災塾，於関西大学梅田キャンパス
自治体の危機管理（Ⅱ）	単独	2024年11月21日	関西大学	第3回河田防災塾，於関西大学梅田キャンパス
自治体の危機管理（Ⅲ）	単独	2024年12月19日	関西大学	第4回河田防災塾，於関西大学梅田キャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費基盤研究（B）	代表	2022～2024	4,940（19,910）	相転移を回避するための南海トラフ地震による長期停電の新たな防災対策
以下，フリー記入				
(所属学会)				
日本災害情報学会（元会長），名誉会員				
日本自然災害学会（元会長）理事，評議員				
土木学会名誉会員・フェロー				
日本地震工学会				
日本自治体危機管理学会				
日本災害復興学会				
(社会貢献活動)				
日本自然災害学会，評議員				
大阪府，大阪府防災会議委員				
大阪府，地震津波災害対策等検討部会，部会長				
大阪市，大阪港地震・津波対策連絡会議，オブザーバー				
兵庫県，災害救急医療システム運営協議会委員				
兵庫県，ひょうご安全の日推進県民会議 企画委員長				
兵庫県，防災教育副読本改訂検討委員会 委員長				
兵庫県，兵庫県防災会議委員				
兵庫県，「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会委員				
兵庫県，「大阪」・関西万博「ひょうご活性化推進協議会委員				
三重県，防災会議専門部会「南海トラフ地震対策検討会議」 委員				
奈良県，地域防災計画検討委員会 委員長				
岡山県，防災アドバイザー				
高知県，南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー				
関西広域連合，関西広域防災計画策定委員会 委員長				
関西広域連合，広域計画等推進委員会 委員				
鳥取県，鳥取県政アドバイザーリースタッフ				
全国知事会地方自治先進政策センター，頭脳センター専門委員				
(一財)防災研究協会，業務運営委員				

研 究 業 績

(一社) 日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会／防災委員会 委員長 (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査部「南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究会」委員 (公財) 兵庫県住宅再建共済基金運営協議会委員 (公財) 計算科学振興財団 評議員 濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）選考委員会 委員長 (株)新興出版社啓林館 小・中学校教科書監修, 執筆 タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議 技術顧問
(その他業績として記載を希望する事項) 日本自然災害学会功績賞 瑞宝中綬章 人と防災未来センター センター長 (2002年～現在) 特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 理事長 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 理事長 特定非営利活動法人 人・家・街 安全支援機構 理事長

■ 一 井 康 二

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有場合はその旨
(著書) Model Tests and Numerical Simulations of Liquefaction and Lateral Spreading II, LEAP-ASIA-2019	共同編集・ 共著	2024年2月	Springer	共同編集 (Tesuto Tobita, Koji Ichii, Kyohei Ueda) 及び共著 (第1章から第 3章, 第18章を共著)
(学術論文) 生活安全のための新しい地盤表層 (表面) の調査法の検討事例	単著	2024年1月	地盤工学会中国支部	地盤と建設, Vol.41, No.1, pp.1-8, 2024. (査読なし, 招待論文)
連続雨量による事前通行規制の妥当性の検 討	共著	2024年1月	地盤工学会中国支部	地盤と建設, Vol.41, No.1, pp.43-49, 2024. 共著者: 村田宗一郎・一井康二・ 比田亘洋・佐々木綾音 (査読有)
地震による道路陥没ポテンシャルマップ 作製フローの提案と課題	共著	2024年2月	土木学会	土木学会論文集, Vol.80, No.13, 23-13098, 2024., 共著者: 岡本順平 (査 読有)
A review of the challenge to use dynamic FEM analysis in seismic design practice of quay walls after the Kobe earthquake disaster	単著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(8), pp.197-202, 2024. (査読有)
A Trial on Numerical Analysis of Liquefied Landslide with Water Inflow with Consideration of Mesh Size	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(59), pp.2266-2269, 2024. 共著者: Soichiro Murata (査読有)
Variation of the levels of the ground microtremors: the effect of the urbanization and the distance from major roads.	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(60), pp.2410-2413, 2024. 共著者: Akiho Ishikawa (査読有)
Subsurface Cavities Under Pavement Due to Large-Scale Earthquakes — Characteristics and a Proposal of Non-destructive Evaluation Method —	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(59), pp.2270-2273, 2024. 共著者: Jumpei Okamoto, Ryoko Sera, Momoka Iwasa (査読有)
The effect of lifeline damage to other lifeline networks: A past experience in Kobe and future perspective on communication technologies	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(60), pp.2394-2397, 2024. 共著者: Kenshiro Itaki, Tetsuo Tobita, Yasuko Kuwata (査読有)
Effect of a lifeline damage to other lifeline networks: A past experience in Kobe and future perspective on sewer and waste disposal networks	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(60), pp.2406-2409, 2024. 共著者: Yusei Kobayashi, Tetsuo Tobita, Yasuko Kuwata (査読有)
The effect of lifeline damage to other lifeline networks: A past experience in Kobe and future perspective of interrelationship effect on Water supply networks	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(60), pp.2402-2405, 2024. 共著者: Ryo Tamari, Tetsuo Tobita, Yasuko Kuwata (査読有)
The effect of lifeline damage to other lifeline networks: A past experience in Kobe and future perspective of interrelationship effect on electricity and gas.	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(60), pp.2398-2401, 2024. 共著者: Rira Nishida, Ayane Sasaki, Tetsuo Tobita, Yasuko Kuwata (査読有)
The effect of lifeline damage to other lifeline network: A past experience in Kobe and future perspective of interrelationship effect on road and railway networks.	共著	2024年6月	日本地盤工学会	Geotechnical Special Publication, JGS, 10(60), pp.2390-2393, 2024. 共著者: Ayane Sasaki, Rira Nishida, Tetsuo Tobita, Yasuko Kuwata (査読有)
地震時の道路陥没被害の把握における課題	共著	2024年9月	公益社団法人 土木学会 地震工学委員会	第44回地震工学研究発表会講演論文集 論文番号355, 共著者: 岡本順平 (査読な し)

研 究 業 績

Applicability of the Visual Screening for Buildings Safety against Earthquakes ～A Case Study on Hatay, Antakya, Turkey～ 建物の地震に対する安全性を確保するための目視スクリーニングの適用性検討 ～トルコ、アンタキヤのハタイ市の事例～	共著	2024年12月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, Vol.15. (印刷中, 2025年3月刊行予定) (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) The effect of soil non-linearity on large landslides caused by liquefaction and water inflow	単独	2024年7月2日	World Conferences on Earthquake Engineering	WCCE2024 MILAN, イタリア・ミラノ MICO Convention Centre
(招聘講演) インフラ施設の安全管理のために～隠れた劣化を覗き見る～	単独	2024年9月13日	安全工学会	第34回安全管理の最新動向講習会 ― 安全工学の周辺分野から学ぶ「安全管理」 ―, 関西大学ミューズキャンパス
創成解の考え方に基づく非線形解析手法のコード・解析検証事例	単独	2024年10月17日	土木学会	「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法 ― ガイドラインとその実践事例 ―」に関する講習会, ウェビナーでの開催
被災事例, 実験を対象とした護岸構造物の非線形地震応答解析	共同	2024年10月17日	土木学会	「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法 ― ガイドラインとその実践事例 ―」に関する講習会, ウェビナーでの開催
以下, フリー記入				
(所属学会)				
土木学会, 地盤工学会, 日本地震工学会, 日本地すべり学会				
(社会貢献活動)				
一般社団法人 FLIP コンソーシアム, 理事および特別顧問				
土木学会地震工学委員会, 委員				
土木学会地震工学委員会, 地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関する研究小委員会, 委員				
土木学会調査研究部門, 原子力土木委員会, 技術文書審議タスクメンバー (地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会担当)				
土木学会地震工学委員会, 耐震基準小委員会, 委員 (復旧性 WG 主査)				
関西ライフライン研究会, 座長				
第8回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実行委員会, 幹事 (総務部会長)				
一般財団法人沿岸技術研究センター, 令和6年度海洋・港湾構造物維持管理資格制度, 講習・研修小委員会, 委員				
(その他業績として記載を希望する事項)				
日本BCP株式会社との共同研究				
ジオ・サーチ株式会社との共同研究				

■ 伊藤大輔

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文)				
ドライバ体調急変時の緊急停止スイッチ操作行動の分析	共著	2024年11月	自動車技術会	自動車技術会論文集55巻6号, p.1238-1243, 國行浩史, 田中敏章, 田澤周平, <u>伊藤大輔</u> (査読有)
中速度域前突における肋骨ひずみ発生 の分析	共著	2024年11月	自動車技術会	自動車技術会論文集55巻6号, p.1256-1262, <u>伊藤大輔</u> , 森本紳 (査読有)
家具衝突時の頭部・胸部骨折に関する有限要素解析——人体体格差や家具前面扉の影響——	共著	2024年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集, 45巻, p.9-16, 染矢晴加, <u>伊藤大輔</u> (査読有)
歩行者および自転車乗員の対四輪車衝突事故に関する頭部傷害の詳細事故データ分析	単著	2024年12月	日本交通科学学会	日本交通科学学会誌, 24巻1号, p.14-25 (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
ドライバ体調急変時の緊急停止スイッチ操作行動の分析	共同	2024年5月24日	自動車技術会	自動車技術会2024年春季大会, パシフィコ横浜 (横浜市)
中速度域前突における肋骨ひずみ発生 の分析	共同	2024年5月24日	自動車技術会	自動車技術会2024年春季大会, パシフィコ横浜 (横浜市)
体調起因事故状況の事例分析と対策の検討	単独	2024年9月3日	日本交通科学学会	第60回日本交通科学学会・学術講演会, 日本大学駿河台キャンパス (東京都)
歩行者衝突検知センサによる機械学習を用いた衝突時の歩行者頭部・脚部傷害予測手法の構築	共同	2024年10月25日	自動車技術会	自動車技術会2024年秋季大会, 仙台国際センター (仙台市)
家具衝突時の頭部・胸部骨折に関する有限要素解析——人体体格差や家具前面扉の影響——	共同	2024年11月16日	地域安全学会	第55回 (2024年度) 地域安全学会研究発表会 (秋季), 静岡市
以下, フリー記入				
(所属学会)				
日本機械学会				
自動車技術会				
日本交通科学学会				
(社会貢献活動)				
自動車技術会 インパクトバイオメカニクス部門委員会 幹事 (2016.04～ 継続中)				
自動車技術会 前突分科会 委員 (2016.04～ 継続中)				
自動車技術会 側突分科会 委員 (2016.04～ 継続中)				
自動車技術会 歩行者保護分科会 委員 (2016.04～ 継続中)				
自動車技術会 学術講演会運営委員会 委員 (2020.11～ 継続中)				
日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 代議員 (2021.04～ 継続中)				
日本交通科学学会 評議員 (2021.07～ 継続中)				

■ 奥 村 与志弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有場合はその旨
(著書) Digital twin paradigm for coastal disaster risk reduction and resilience	共著	2024年10月18日	Elsevier	Probabilistic Tsunami Hazard and Risk Analysis; Towards Disaster Risk Reduction and Resilience, edited by Katsuichiro Goda, Raffaele De Risi, Aditya Gusman, and Ioan Nistor, Co-author of Chapter 24, pp. 543-559
(学術論文) 南海トラフ巨大地震に伴う災害関連死	単著	2024年 3 月	公益財団法人ひょう ご震災記念21世紀研 究機構	21世紀ひょうご, 第36号, pp.19-33
Proposing Thematic Mapping for Integrated Risk Communication: A study of British & Japanese perspectives in flood-prone communities	共著	2024年 4 月24日	Elsevier	International Journal of Disaster Risk Reduction, 107 (Art. 104472), Pawlik, M., Kitagawa, K., Shiroshita, H., Jayaratne, R., Nomoto, S., Okumura, Y. and Kono, K., 査読有
避難開始における論理的判断と直感的判断 の関係に注目した災害体験を伝える文書の 分析	共著	2024年 6 月 8 日	土木学会	土木学会論文集, Vol. 80, No. 13, 23-13101, 高橋佑介, 奥村与志弘, 査読 有
FIELD SURVEY ON FACTORS AFFECTING THE INITIATION OF TSUNAMI EVACUATION IN YOGYAKARTA, INDONESIA	共著	2024年 7 月 3 日	WCEE	Proceedings of the 18th World Conference on Earthquake Engineering, TNM1/4/6, 8 p. K. Sujatmiko, Y. Okumura, R. Abdulharis, A. Handayani
避難開始における論理的判断と直感的判断 の関係に関する津波避難シミュレーション	共著	2024年 9 月11日	土木学会	第44地震工学研究発表会講演論文集, A24-400, 6 p. 高橋佑介, 土肥裕史, 奥 村与志弘
新聞記事を用いた令和6年能登半島地震津 波における住民の避難行動調査	共著	2024年 9 月11日	土木学会	第44地震工学研究発表会講演論文集, A24-402, 5 p. 久世真侑子, 奥村与志 弘, 高橋佑介
南海トラフ地震を想定した大阪梅田地区に おける津波避難実験	共著	2024年 9 月11日	土木学会	第44地震工学研究発表会講演論文集, D24-403, 5 p. 前田結衣, 奥村与志弘
街やビジネスの仕組みに安心・安全のイノ ベーションを起こす〜大阪梅田地区をフィ ールドに目指す新しい防災の形とは〜	共著	2024年 9 月17日	関西大学先端科学技 術推進機構	Re: ORDIST, Vol.50, No.1, pp.1-6, 奥 村与志弘, 安田誠宏, 西岡健一
南海トラフ臨時情報で明らかになった防災・ 減災の現在地	単著	2024年 9 月26日	奈良ロータリークラ ブ	NARA ROTARY, 会報No.3001, pp.4-7
令和6年(2024年)能登半島地震による停 電と災害関連死および企業生産活動への影 響	共著	2024年11月30日	自然災害学会	自然災害科学, Vol.43, No.3, pp.449- 458, 奥村与志弘, 橋富彰吾, 寅屋敷哲 也, 中林啓修, 河田恵昭, 査読有
(その他, 論考・研究資料等) 能登地震の災害関連死を防ぐには	単著	2024年 1 月15日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊 2 面, 関大 社会安全学 部リレーコラム
能登地震3ヶ月 試される考動力	単著	2024年 4 月 8 日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊 2 面, 関大 社会安全学 部リレーコラム
能登災害関連死 検証へ正念場	単著	2024年 8 月 5 日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊 2 面, 関大 社会安全学 部リレーコラム
防災を次なるステージへ	単著	2024年 8 月27日	朝日新聞社	『朝日新聞』広告記事, 子ども新聞2024寄 稿文
「来街者の防災」進める契機に	単著	2024年12月16日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊, 関大 社会安全学部リ レーコラム
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) UF 研究会の概要	単独	2024年 1 月25日	関西大学先端科学技 術推進機構	第28回関西大学先端科学技術シンポジウ ム, 関西大学百周年記念会館(大阪府吹 田市)

プロ野球本拠地球場の防災ポテンシャル	共同	2024年1月25日	関西大学先端科学技術推進機構	第28回関西大学先端科学技術シンポジウム、東恭史、奥村与志弘、関西大学百周年記念会館（大阪府吹田市）、ポスター発表
梅田における津波避難実験の試み	共同	2024年1月25日	関西大学先端科学技術推進機構	第28回関西大学先端科学技術シンポジウム、前田結衣、奥村与志弘、関西大学百周年記念会館（大阪府吹田市）
南海トラフ・トランスフォーメーションとは？～現役関大生によるラジオ番組で「防災イノベーションのヒントを探る」～	共同	2024年1月25日	関西大学先端科学技術推進機構	第28回関西大学先端科学技術シンポジウム、宮本波菜子、池内梨華、稲垣完汰、久世真侑子、寺井孝志朗、前田結衣、西岡健一、服部晃一郎、奥村与志弘、関西大学百周年記念会館（大阪府吹田市）
東日本大震災における気仙沼市の関連死発生プロセス	共同	2023年3月17日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会	東日本大震災・原子力災害 第2回学術研究集会, pp.125-126, 山崎健司, 奥村与志弘, コラッセふくしま（福島県福島市）
避難開始の論理的判断と直感的判断の違いを考慮した避難行動開始のタイミングに関する一考察	共同	2024年3月20日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会	東日本大震災・原子力災害 第2回学術研究集会, pp.151-152, 2024年3月20日, 高橋佑介, 奥村与志弘, コラッセふくしま（福島県福島市）
Analyzing Evacuation Initiation Processes during Natural Disasters	単独	2024年11月28日	VNU-HCM 他	International Symposium on Natural and Human-Caused Disasters in Condition of Climate Change and Sustainable Development, Ho Chi Minh City University of Technology, VNU-HCM (Ho Chi Minh)
津波からの避難開始における論理判断型住民が直感判断型住民に与える影響の分析	共同	2024年12月6日	東京大学他	第14回巨大津波災害に関する合同研究集会, 高橋佑介, 土肥裕史, 奥村与志弘, 海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）
生活拠点別に見た災害関連死の特性分析	共同	2024年12月5日	東京大学他	第14回巨大津波災害に関する合同研究集会, 山崎健司, 奥村与志弘, 海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）
介護サービス受給者に注目した東日本大震災時の気仙沼市の災害関連死の特徴	共同	2024年12月5日	東京大学他	第14回巨大津波災害に関する合同研究集会, 八木亮介, 奥村与志弘, 海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）
中国における地震災害と交通事故の横断的分析	共同	2024年12月5日	東京大学他	第14回巨大津波災害に関する合同研究集会, 李昊程, 奥村与志弘, 海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）
（招聘講演） 防災価値と日常価値～四国の市町村長と共に考える南海トラフ巨大地震対策の次のステージ～	単独	2024年1月31日	国土交通省 四国地方整備局	令和5年度四国防災トップセミナー、かがわ国際会議場
事故と災害の比較研究から能登半島地震をどう見るか	単独	2024年2月9日	公益社団法人 自動車技術会 インパクトバイオメカニクス部門委員会	第10回インパクトバイオメカニクス部門委員会 講演会、関西大学高槻ミューズキャンパス
令和6年能登半島地震と災害関連死	単独	2024年2月22日	北摂市議会	北摂市議会議長会総会研修、パナソニックリゾート大阪
令和6年能登半島地震と災害関連死	単独	2024年5月8日	災害協定関西地区連絡会議（主担当 土木学会関西支部）	災害協定関西地区連絡会 拡大会議、建設交流会館
令和6年能登半島地震の実態	単独	2024年5月13日	関西大学	2024年度関西大学おおさか文化セミナー、関西大学梅田キャンパス
安全安心な未来をつくる～南海トラフ巨大地震に備える～	単独	2024年5月28日	田原市教育委員会	田原市教育委員会「防災キャンプ事業」特別授業、田原市立清田小学校
南海トラフ巨大地震へのカウントダウン：給食施設関係者と共に考えるNEXT BOSAI	単独	2024年6月6日	淡路ブロック給食施設協議会	淡路ブロック給食施設協議会研修会、ホテルアナガ
災害対応各論（災害関連死）	単独	2024年6月12日	人と防災未来センター	DRI 災害対策専門研修エキスパートA、国際健康開発センター

研 究 業 績

東日本大震災で起きたこと・起きていること	単独	2024年 6 月15日	日本赤十字社愛知県支部・岐阜県支部、朝日新聞社メディア事業本部	子ども新聞プロジェクト事前授業、朝日新聞名古屋本社
地震・津波のリスク	単独	2024年 7 月13日	関西大学、関西大学教育後援会、関西大学校友会	関西大学教育後援会 宮崎市教育懇談会特別講演「災害多発時代に備えるために」、ホテル JAL シティ宮崎
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震 ——発生メカニズムと対策について——	単独	2024年 7 月21日	兵庫県淡路県民センター	令和 6 年度淡路地域ひょうご防災リーダー講座、兵庫県洲本総合庁舎
令和 6 年能登半島地震から何を学か——災害関連死などで命を失わないために——	単独	2024年 7 月27日	吹田市交流活動館	吹田市交流活動館講演会、吹田市交流活動館
防災価値と日常価値～宇多津町の未来を見据えたこれからの防災・減災～	単独	2024年 8 月10日	香川県宇多津町	宇多津町防災講演会、宇多津町保健センター
防災価値と日常価値～安芸市の未来を見据えた南海トラフ巨大地震対策の次のステージ～	単独	2024年 8 月18日	安芸市・安芸市教育委員会・高知新聞社・RKC 高知放送	第68回安芸市夏季大学講座、安芸市民会館
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震 ——発生メカニズムと対策について——	単独	2024年 9 月 8 日	兵庫県広域防災センター	令和 6 年度ひょうご防災リーダー講座、兵庫県広域防災センター講堂、
南海トラフ巨大地震臨時情報で明らかになった防災・減災の現在地	単独	2024年 9 月19日	奈良ロータリークラブ	奈良北部 6 ロータリークラブ合同例会卓話（講演）、奈良ホテル
災害対応各論（災害関連死）	単独	2024年10月 9 日	人と防災未来センター	DRI 災害対策専門研修エキスパート A、人と防災未来センター
南海トラフ巨大地震に伴う災害関連死	単独	2024年10月15日	（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構	ひょうご講座2024、兵庫県民会館
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震～発生メカニズムと対策について～	単独	2024年10月26日	芦屋市	令和 6 年度芦屋市防災士養成講座、芦屋市役所
企業が変える防災のカタチ、防災が変える企業のカタチ	単独	2024年11月10日	亀岡市	令和 6 年度亀岡市防災士養成講座、亀岡市役所
淡路のこれからの防災を考える 令和 6 年能登半島地震の教訓を踏まえて	単独	2024年11月17日	南あわじ市阿万地区	南あわじ市阿万地区 防災講演会、阿万小学校
伏見区民への能登半島地震からの教訓	単独	2024年12月18日	伏見の防災を考える会	令和 6 年度伏見連続講座、伏見区役所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B)	分担	2022年～2024年	600 (2,000)	相転移を回避するための南海トラフ地震による長期停電の新たな防災対策
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B)	分担	2022年～2024年	150 (1,300)	多様な発生形態を有する南海トラフ地震に対応可能なライフライン防災に関する研究
日本 BCP 株式会社 共同研究	代表	2023年10月～2024年 9 月	500 (1,000)	災害時における電源確保のための燃料備蓄と災害時の燃料配送および事業継続に関する研究
日本 BCP 株式会社 共同研究	代表	2024年10月～2025年 9 月	500 (1,000)	災害時における電源確保のための燃料備蓄と災害時の燃料配送および事業継続に関する研究（継続）
国立大学法人愛媛大学・ORNIS 株式会社 共同研究	分担	2024年	1,170	海洋レーダーデータを用いた津波計測・津波防災情報に関する研究
北海道立総合研究機構 重点研究課題	分担	2024年 6 月～2026年 3 月	800 (2,100)	防災まちづくりにおける防災・減災対策評価ツールの開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
日本地震学会				

地域安全学会 AGU (アメリカ地球物理学連合)
(社会貢献活動) <u>1. 学会</u> 土木学会 地震工学委員会『土木学会地震工学論文集編集小委員会』幹事長 土木学会 海岸工学委員会『沿岸災害デジタルツイン研究小委員会』幹事長 土木学会 国際部門国際センター『留学生グループ』委員 自然災害学会『ホンネで語ろう「ほうさい」イブニングカフェ』企画・運営会議 委員 地域安全学会『学術委員会』委員 6th ACUDR (第6回アジア都市防災会議) 実行委員会 委員 The IUGG Joint Tsunami Commission Member <u>2. 国</u> 中央防災会議防災対策実行委員会『南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ』委員 内閣府『南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会』委員 <u>3. 地方自治体</u> 大阪府『大阪府防災会議』専門委員 徳島県『徳島県南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会』委員 広島県『能登半島地震を踏まえた被災者支援の強化に向けた地震防災対策検討会』委員 貝塚市『貝塚市水間公園有識者懇話会』委員 貝塚市『貝塚市緑の基本計画検討委員会』委員 南あわじ市『兵庫県南あわじ市防災会議』委員 南あわじ市『福良地区円卓会議』座長 田原市『愛知県田原市防災会議』委員 田原市 教育委員会『田原校区みんな参加の防災キャンプ実行委員会』アドバイザー 海南市『水害・土砂災害ハザードマップ作成にかかる監修』 <u>4. その他の委員など</u> 人と防災未来センター『災害メモリアルアクション神戸 実行委員会』委員 ひょうご震災記念21世紀研究機構『南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究』研究会委員 朝日新聞名古屋本社・日本赤十字社『子ども新聞プロジェクト』アドバイザー NPO 法人 大規模災害対策研究機構 理事 ORNIS 株式会社 技術顧問
(客員教員・非常勤講師) 愛媛大学 客員教授 神戸学院大学 現代社会学部 非常勤講師
(その他業績として記載を希望する事項) <u>報道・取材協力</u> R06.01.05: 東海テレビ「ニュース番組『NEWS ONE (16:49~19:00)』」関連死対策についてコメント (収録). R06.01.09: 朝日新聞「災害関連死, 100人以上の可能性も 自宅にとどまる被災者も要注意」デジタル. R06.01.10: テレビ朝日「報道ステーション (21:54~23:15)」災害関連死についてコメント (収録). R06.01.11: 『news23 (21:54~23:15)』災害関連死についてコメント (収録). R06.01.12: 毎日新聞「能登半島地震 被災地から退避, 判断早急に」デジタル. R06.01.12: 毎日新聞「被災地退避 支援を」朝刊23面. R06.01.12: Abema TV「能登半島地震 災害関連死」生放送. R06.01.13: 朝日新聞「長引く避難 関連死リスク」朝刊2面, コメント. R06.01.13: 読売テレビ『ウェークアップ』 R06.01.14: TBS『サンデーモーニング (8:00-9:54)』災害関連死についてコメント (収録). R06.01.14: 日本テレビ『真相報道バンキシャ! (18:00~18:54)』災害関連死についてコメント (収録). R06.01.14: 日本テレビ『ミスターサンデー (22:00~23:15)』災害関連死についてコメント (収録). R06.01.17: 読売テレビ『朝生ワイドす・またん! & ZIP! (05:10~09:00)』災害関連死についてコメント. R06.01.20: 朝日新聞「震災10日後の死「避けられた」 父が訴えた異変, 悔やむ医師はいま」デジタル版, コメント. R06.01.21: NHK [総合]「NHK スペシャル『能登半島地震 いのちの危機をどう防ぐ』」21:00~21:59 (生出演). R06.01.31: NHK World「ONE MONTH AFTER THE NOTO EARTHQUAKE」18:30~ (3 min. Interview)

研 究 業 績

R06.02.01：北國新聞（時事通信社）、「防ごう 災害関連死 感染症対策の徹底を」朝刊34面，災害関連紙についてコメント。

R06.02.02：産経新聞「北陸以外への2次避難「ゼロ」 2万人分超が未利用，地元での確保急務に」朝刊3面。

R06.02.02：読売新聞，「能登地震 検証」朝刊1面。

R06.02.04：NHK〔総合〕「明日を守るナビ『能登半島地震 関連死対策』」10：05～（出演）。

R06.02.11：NHK〔総合〕「ニュース7『能登半島地震 今後の関連死対策のポイント』」19：00～19：30（出演）。

R06.03.09：朝日新聞「避難所で「ヒートショック」，おかゆを誤嚥 関連死疑い相次ぐ奥能登」デジタル。

R06.03.19：朝日新聞「車中泊・避難所，潜む関連死 県公表15人「氷山の一角」 能登地震」朝刊35面。

R06.03.31：時事通信「「災害関連死」43人以上申請 被災3カ月，さらに増加も ― 識者「継続的に警戒を」・能登地震」デジタル。

R06.05.14：NHK〔総合〕「ニュース7『能登半島地震「災害関連死」審査会が初会合』」19：00～19：30（出演，コメント）。

R06.05.14：NHK〔総合〕「ニュースウォッチ9『能登半島地震「災害関連死」審査会が初会合』」21：00～22：00（出演，コメント）。

R06.05.15：NHK〔総合〕「おはよう日本『能登半島地震「災害関連死」審査会が初会合』」05：00～06：00（出演，コメント）。

R06.05.15：読売新聞「審査会答申へ 輪島，珠洲，能登3市町」朝刊28面。

R06.05.15：石川テレビ「石川県内ニュース『能登半島地震の災害関連死の認定審査始まる 認定までのハードルは？課題は？』」（出演，コメント）。

R06.06.03：NHK ラジオ（ラジオ第一）「マイあさ！月曜7時台 けさの“聞きたい”『能登半島地震・災害関連死』」（7時30分頃から約10分）。

R06.06.04：NHK〔関西〕「ほんと関西『被災者の実情に合う支援の仕組みを 支援団体が国会議員に訴え』」18：00～19：00（研究成果紹介）。

R06.06.14：毎日新聞「能登地震1.1：3，4月死亡届が3割増 災害関連死，増える可能性 4市町，例年比」朝刊24面。

R06.06.18：産経新聞「「危機感希薄になってきた」…大阪北部地震6年 私有地で進まぬブロック塀撤去へ説得続く」朝刊23面。

R06.08.13：NHK〔関西〕「ほんと関西『南海トラフ臨時情報 お盆に影響』」18：00～19：00（出演，コメント）。

R06.08.13：NHK〔総合〕「ニュース7『南海トラフ臨時情報 お盆に影響』」19：00～19：30（出演，コメント）。

R06.08.14：NHK〔総合〕「おはよう日本『南海トラフ臨時情報 お盆に影響』」（出演，コメント）。

R06.08.23：NHK（関西）「かんさい熱視線『検証“巨大地震注意” 南海トラフ地震にどう備えるか』」19：30～19：57（生放送）スタジオ解説。

R06.08.31：JAPAN TIMES「Can Japan handle a heat wave and natural disaster at the same time?」

R06.09.02：朝日新聞「防災を次なるステージへ」，子ども新聞2024，広告記事，寄稿文。

R06.09.24：NHK〔総合〕「ニュース7『能登豪雨 災害関連死を防ぐため外部から支援を』」19：00～19：30（出演，コメント）。

R06.10.19：新潟日報「繰り返される災害関連死」朝刊1面，31面。

R06.12.16：読売新聞「能登関連死 避難負担重く 石川 直接死上回る」朝刊3面。

R06.12.26：NHK〔総合〕「おはよう日本」「災害関連死 救えたはずの命守るには」「『2次避難にリスクも』」7：00～（出演，コメント）。

番組企画協力

R06.01.21：FM大阪，西岡ゼミ，奥村ゼミ「「ほうさいテラス『防災イノベーションのヒントを探るコーナー』」，6：15-6：30の番組内。

R06.02.11：FM大阪，西岡ゼミ，奥村ゼミ「「ほうさいテラス『防災イノベーションのヒントを探るコーナー』」，6：15-6：30の番組内。

R06.02.18：FM大阪，西岡ゼミ，奥村ゼミ「「ほうさいテラス『防災イノベーションのヒントを探るコーナー』」，6：15-6：30の番組内。

R06.03.17：FM大阪，西岡ゼミ，奥村ゼミ「「ほうさいテラス『防災イノベーションのヒントを探るコーナー』」，6：15-6：30の番組内。

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有場合はその旨
(著書) ファミリービジネスの事業承継と経営戦略	編著	2024年3月	関西大学出版部	P1-251 第2章「事例研究 豫洲短板産業」 (P37-72) 上田正人と共著 第3章「事例研究なんつね」(P73-108) 上田正人と共著 第4章「外食ファミリービジネスによる 危機突破とレジリエンス」(P109-122) 林能成と共著 第5章「事例研究 株式会社 耳卯」 (P123-140) 第6章「気仙沼オイカワデニムの事業承 継とレジリエンス」(p141-162) 第8章「中小企業経営者の健康——日仏 共同調査からの示唆」(P179-200) 第11章「ファミリービジネス・事業承継 研究の新潮流」(P229-244)
生活リスクマネジメントのデザイン 第3 版 リスクコントロールと保険の基本	単著	2024年10月	法律文化社	P1-153
(学術論文) リスクマネジメント研究の展開 リスクマ ネジメントのフレームワーク	単著	2024年5月	日本リスクマネジ メント学会	危険と管理 第55号「企業リスクマネジ メント研究の45年」P63-74 (査読なし)
Development of the occupational stress scale for small and medium-sized enterprise owners for stress prevention measures	共著	2024年8月	National Institute of Occupational Safety and Health, Japan (JNIOH)	<i>Industrial Health</i> , 10.2486/indhealth. 2023-0206, Advanced published on line, Sumiko KURIOKA, Akihito HAGIHARA, Katsuyuki KAMEI, Masakazu HORIKOSHI, Olivier TORRES (査読有)
中小企業経営者におけるストレス予防対策 の実態に関する調査	共著	2024年3月	桃山学院教育大学	桃山学院教育大学研究紀要 (6) 栗岡住 子, 馬ノ段梨乃, 亀井克之, 村上祐介, 平野光俊, 小牟禮尚子, オリヴィエ・ト レス P.28-42 (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 日仏対訳 ファミリー企業・中小企業の事 業承継 日仏シンポジウムの記録	編著	2024年3月	関西大学経済・政治 研究所	「調査と資料」第123号 関西ファミリ ービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 P1-216
堺市の元気な外食企業・ファミリービジネ ス	単著	2024年3月	堺市と関西大学の地 域連携事業	堺市ファミリービジネス・外食企業の事 業継続と事業承継 P1-83
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) アートとリスクマネジメント	単独	2024年9月28日	日本リスクマネジ メント学会	日本リスクマネジメント学会 第49回全 国大会 統一論題 司会兼問題提起 文 教大学 東京あだちキャンパス
ファミリービジネスの経営戦略とリスクマ ネジメント ワイン産業の事例	単独	2024年3月11日	ファミリービジネス 学会	2024年度研究発表大会 沖縄・万国津梁 館
女性後継者の事業承継とリスクマネジメ ント	共同・単独	2024年11月30日	日本リスクマネジメ ント学会	日本リスクマネジメント学会 関東部会 専修大学神田キャンパス 堀越昌和 亀 井克之 栗岡住子
(研究報告) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジ ア戦略研究班の活動	単独	2024年3月26日	関西大学経済・政治 研究所	顧問との懇談会, 児島惟謙館, 会議室, オ ンライン発表

研 究 業 績

フランス企業の経営戦略 世界最大の保険企業アクサとは何か？	単独	2024年 6 月14日	関西大学経済・政治研究所	関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 公開セミナー フランス企業の経営戦略とリスクマネジメント 世界最大級の保険グループアクサ（AXA）の事例研究 高槻ミュージックキャンパス M706
危機管理と決断の要点	単独	2024年 7 月16日	関西大学経済・政治研究所	関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 公開セミナー 高槻ミュージックキャンパス M706
(招聘講演) リスクマネジメント リスクマネジメント研究の展開 リスクマネジメントのフレームワーク	単独 単独	2024年 1 月18日 2024年 7 月12日	堺市教育委員会 日新火災海上保険	リスクマネジメント研修 堺市役所 リーダー研修 日新火災海上保険本社
(総合司会・通訳・パネリスト) 上田正人講演「酸化チタンの研究 細胞シートの作製・サンゴ礁再生技術の開発」	単独	2024年 1 月31日	関西大学大学経済・政治研究所	(司会) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア研究班 公開セミナー 児島惟謙館 会議室
林昭信講演「親族外事業承継とファイナンス——経営者保証の事例研究——」	単独	2024年 2 月28日	関西大学大学経済・政治研究所	(司会) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア研究班 公開セミナー 高槻ミュージックキャンパス
耳原総合病院アートセクション衛藤桃子トーク・村木実来ダンス ダンスを観ようちょっと踊ろう	共同	2024年 3 月 4 日	堺市と関西大学の地域連携事業／耳原総合病院	(コーディネーター)「堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業承継」イベント ひまわりの家 鳳
Jinia Mukerjee 講演 Part I Play and psychological safety: An ethnography of innovative work	単独	2024年 4 月26日	関西大学社会安全学部 関西大学大学院社会安全研究科	(司会) 2024年度社会安全学部 外国人招へい研究者講演会/PDM セミナー 高槻ミュージックキャンパス M706
Jinia Mukerjee 講演 Part II Be mindful to handle critical incidents: A mixed method study with Italian air traffic controllers	単独	2024年 4 月26日	関西大学社会安全学部 関西大学大学院社会安全研究科 PDM	(司会) 2024年度社会安全学部 外国人招へい研究者講演会/PDM セミナー 高槻ミュージックキャンパス M706
村田吉優講演「サイネックスの経営戦略とリスクマネジメント」	単独	2024年 6 月15日	日本リスクマネジメント学会／関西大学経済・政治研究所	(司会) 関西部会／関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 公開セミナー 高槻ミュージックキャンパス M706
陳宇翔講演 Credit Evaluation of SMEs Lending in Taiwanese Banks: Scoring Models and Soft Information	単独	2024年 7 月11日	関西大学経済・政治研究所	(司会) 2024年度経済・政治研究所外国人招へい研究者講演会（研究者向け） 関西大学東京センター会議室 A
楽亭じゅげむ講演「落語で危機管理」	単独	2024年 7 月16日	関西大学経済・政治研究所	(司会) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 公開セミナー 関西大学高槻ミュージックキャンパス ミューズホール
陳宇翔講演 Retail Investors in Taiwan's Stock Market .Sociology of Their Knowledge, Resources, Information, and Risk Control	単独	2024年 7 月16日	関西大学経済・政治研究所	(司会) 2024年度関西大学経済・政治研究所外国人招へい研究者講演会（学生向け） 関西大学梅田キャンパス701
大阪王将の「超える」経営	共同	2024年 7 月18日	関西大学経済・政治研究所	(パネリスト) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 公開セミナー 関西大学梅田キャンパス ホール
Ali Zoubiri (フランス日本拳法連盟創始者) 講演「関西大学発祥の日本拳法をいかにリスクをとってフランスに広めたか」Nippon Kempo en France	単独	2024年 9 月17日	関西大学経済・政治研究所	(司会) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 公開セミナー 千里山キャンパス第2学舎 C401
岡田光莉講演「KERRYの経営戦略とリスクマネジメント」	単独	2024年10月22日	関西大学社会安全学部 リスクマネジメント研究室	(司会) 高槻ミュージックキャンパス M706
航空機事故対応	単独	2024年11月 2 日	日本危機管理防災学会	(司会・コメンテーター) 第18回研究大会分科会I 明治大学駿河台キャンパス リパティタワー 7F 1073
Wolfgang Herbert 講演 The ubiquity of cults and cultic movement	単独	2024年12月17日	関西大学大学院社会安全研究科 PDM	(司会) PDM セミナー 高槻ミュージックキャンパス M706

Wolfgang Herbert 講演 The transformation of the Japanese criminal underworld	単独	2024年12月18日	関西大学大学院社会安全研究科 PDM	(司会) PDM セミナー 高槻ミュージャンパス M706
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 課題番号	分担	2023～2025年度	650 (3,500)	中小企業における女性後継者の承継後企業パフォーマンスの決定要因に関する研究 研究代表者 堀越冒和
科学研究費補助金 基盤研究 (B) 課題番号 21H00751	代表	2021～2025年度	800 (7,200)	被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究
科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題／領域番号 22K11135	分担	2023～2025年度	100 (4,160)	中小企業経営者におけるストレス予防教育プログラムの開発 研究代表者 栗岡住子
堺市と関西大学との地域連携事業	代表	2024年度	530 (1,260)	Art with Hospital in Sakai 堺市 医療機関におけるアート
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本リスクマネジメント学会 理事長 ファミリービジネス学会 理事 ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事 情報ディレクトリ学会 理事 日仏経営学会 日本経営学会 日本商品学会 日本中小企業学会 日本保険学会 事業承継学会				
(社会貢献活動) 特定非営利活動法人コミュニアル 理事 経営学関連学会連絡協議会 評議員 日本経済学会連合 委員 大阪家庭裁判所委員会, 委員 大津市 消防署 救助訓練中における事故に関する検証委員会 委員長 フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長 全国通訳案内士 フランス語 関西広域連合登録 第FR00099号 1996年6月28日 全国通訳案内士 英語 関西広域連合登録 第EN01034号 2017年12月28日				
(その他) 2024年度関西大学社会安全学部 外国人招へい研究者 Jinia Mukerjee (フランス モンペリエ・ビジネススクール教授) 受け入れ担当責任者 2024年4月5日～5月1日 2024年度関西大学経済・政治研究所 外国人招へい研究者 陳宇翔 (台湾 国立台北大学) 受け入れ担当責任者 2024年7月1日～7月28日 東洋大学 大学院 国際学研究科 (国際地域学専攻) 博士課程後期課程 博士学位論文 副査 (主査 松丸亮), 2024年3月25日 久保俊一郎「中小企業の BCP 策定促進を目的とした新しい BCP 枠組みの研究」 大阪医科大学 看護学部 非常勤講師 「くらしと安全・危機管理」担当 関西大学 経済・政治研究所 「関西ファミリービジネスの BCM と東アジア研究班」主幹 (2021年4月1日～2025年3月31日) 関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問 関西大学 体育会 準硬式野球部 顧問 (～2024年3月) 関西6大学 準硬式野球連盟 会長 (～2024年3月) 関西大学 社会安全学部 学生団体 軟式野球サークル 顧問				
(報道) (ラジオ)「亀井ゼミ 消防士になるまでの道のり」『Hit & Hit !』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2024年12月2日 (ラジオ)「亀井ゼミ 海外留学について」『Hit & Hit !』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2024年12月9日 (ラジオ)「亀井ゼミ 救急車出動の課題」『Hit & Hit !』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2024年12月16日				

研 究 業 績

- (ラジオ)「亀井ゼミ 航空安全について」『Hit & Hit!』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2024年12月23日
- (ラジオ)「亀井ゼミ リスクマネジメントについて」『Hit & Hit!』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2024年12月30日
- (新聞)「タカラヅカの論理」優先」「劇団員急死」「パワハラ認定も遺族側と溝」産経新聞 2024年2月29日 朝刊3面
- (新聞WEBサイト)「NTT 西, 顧客情報流出で報告書 過去の調査「極めて杜撰」」日本経済新聞WEB版 2024年2月29日 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF297JA0Z20C24A2000000/>
- (新聞)「歌劇団任せ ブランド失墜」「伝統」に縛られ 対応に時間」産経新聞 2024年3月29日 朝刊3面 水平垂直
- (WEB記事)「小林製薬「紅麹」自主回収まで2か月も 「情報開示のあり方が問われている」識者が対応のまずさ指摘」「早期回収に伴うコスト以上に悪影響」J-CAST ニュース 2024年4月5日 <https://www.j-cast.com/2024/04/05481104.html>
- (新聞記事)「小林製薬 対応遅れ混乱拡大 紅麹問題 浮かぶ企業の教訓」「リスク感性が重要」専門家」産経新聞 2024年4月18日 朝刊22面 <https://www.sankei.com/article/20240417-PYQ6VFZGI5KCVH3ZGVGIZLR3G4/>
- (新聞)「『ファミリービジネスの事業承継と経営戦略』亀井克之編著 (関西大学出版部)」毎日新聞 2024年5月8日 朝刊12面 ブックウォッチング <https://mainichi.jp/articles/20240508/ddm/010/070/006000c>
- (新聞)「「紅麹」新たに76人死亡疑い 企業体質問う声」「突然15倍超 不信募る」毎日新聞 2024年6月29日 朝刊27面 <https://mainichi.jp/articles/20240628/k00/00m/020/346000c>
- (新聞)「小林製薬取締役会 死者数把握」「「紅麹」企業統治形骸化の声」産経新聞 2024年7月8日 朝刊3面 <https://www.sankei.com/article/20240707-4UGFNCGWEFPULBUV36KOSFYS4E/>
- (新聞)「小林製薬「紅麹」報告書」「現場任せ ずさん管理」「トップ交代も会見なし」読売新聞 2024年7月24日 朝刊31面
- (新聞)「兵庫県知事告発 「嘘八百」初動に批判」「詳細調査なく「最悪の対応」」「公益通報窓口を外部設置へ」産経新聞 2024年7月25日 朝刊27面 <https://www.sankei.com/article/20240724-B74X6WOPHRI4FPRFODK43RL3WU/>
- (新聞)「サブリ摂取 死亡104人」「大阪市など因果関係調査」「鈍かったリスク感度」産経新聞 2024年8月9日 朝刊3面 <https://www.sankei.com/article/20240808-YQNEWUKVCVMAHEIEKFAAKAAQ7A/>
- (新聞)「NHK 国際ラジオ 生放送 発言止められず」「識者「防ぐ手立て必要」」読売新聞 2024年8月24日 朝刊30面 <https://www.yomiuri.co.jp/national/20240823-OYT1T50155/>
- (新聞)「La culture française et le sport sont les passions de Katsuyuki Kamei, professeur d'université, grand francophile, en visite il y a quelques jours dans le Loudunais」La Nouvelle République (フランス) 2024年9月1日 <https://www.lanouvellerepublique.fr/vienne/commune/monts-sur-guesnes/loudun-katsuyuki-kamei-un-japonais-francophile-amateur-de-marathon-et-de-vin>
- (テレビ)「通園バス女兒死亡事件から2年 訪れた人が献花」NHK「たっぷり静岡」2024年9月5日 <https://www3.nhk.or.jp/lnews/shizuoka/20240905/3030025271.html>
- (新聞)「中小企業の良い事例」「オイカワデニム 事業継承が書籍に掲載」三陸新報 2024年9月18日
- (新聞WEB版)「阪神タイガース岡田彰布監督の2年 組織運営の要諦は？」日本経済新聞電子版 2024年10月14日 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF10CE70Q4A011C2000000/>
- (新聞)「小林製薬損失101億円に」「紅麹関連, 回収で増加」「脱創業家」経営再建どこまで」産経新聞 2024年11月9日 朝刊5面 <https://www.sankei.com/article/20241108-STOAWDU3SRPNPH5SWHKPKD4ZLY/>
- (新聞)「バスケ八村の日本協会批判問題 支援や意思疎通不足」「協会, 迫られる態勢見直し」秋田魁新報 2024年12月12日 朝刊 15面
- (新聞)「八村の批判受けバスケ協会」「時間かかる不信感払拭」「丁寧な対応欠かせず」下野新聞 2024年12月12日
- (新聞)「不信感払拭簡単でなく」「バスケ八村が批判 日本協会」「支援態勢など見直し急務」新潟日報 2024年12月12日 朝刊20面
- (新聞)「時間かかる不信感払拭」「八村のバスケ協会批判」「選手支援態勢の見直し必要」北日本新聞 2024年12月12日 <https://webun.jp/articles/-/722829>
- (新聞)「時間かかる不信感払拭」「バスケ八村の日本協会批判」「協会側態勢見直し迫られる」富山新聞 2024年12月12日 <https://www.hokkoku.co.jp/articles/tym/1602620>
- (新聞)「時間かかる不信感払拭」「バスケ八村の日本協会批判」「協会側態勢見直し迫られる」北國新聞 2024年12月12日 <https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/1602578>
- (新聞)「バスケ八村の日本協会批判問題」中日新聞 2024年12月12日
- (新聞)「バスケ八村の日本協会批判問題」北陸中日新聞 2024年12月12日
- (新聞)「バスケ八村の日本協会批判問題」山口新聞 2024年12月12日
- (新聞)「バスケ八村の日本協会批判問題」愛媛新聞 2024年12月12日
- (新聞)「バスケ八村の日本協会批判問題」高知新聞 2024年12月12日
- (新聞)「バスケ八村の日本協会批判問題」佐賀新聞 2024年12月12日

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称,「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁,査読有の場合はその旨
(学術論文) 群集なだれのメカニズム	単著	2025年2月	日本旅行医学会	日本旅行医学会誌 第21号(掲載決定) (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演) 群集事故事例から学ぶ雑踏警備の危機管理	単独	2024年2月27日	兵庫県警察	兵庫県警察学校講義(兵庫県芦屋市 兵 庫県警察学校)
群集事故の諸相とメカニズム解明に向けた 取り組み	単独	2024年5月18日	日本旅行医学会	第22回 日本旅行医学会大会 (Zoom オ ンライン)
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 建築学会				
(社会貢献活動) 兵庫県警察 雑踏警備アドバイザー 大阪ヘルスケアパビリオン 警備業務委託事業者選定委員会委員 びわこモーターボート 競走場警備業務委託入札に係る評価検討会アドバイザー				

研 究 業 績

■ 桑 名 謹 三

著書，学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称，「単著」は最初と最後の頁， 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名， 担当部分の頁，査読有の場合はその旨
(学術論文) カーボンニュートラルとゼネコンの中高層 木造建築戦略の課題	単著	2024年 2 月	日本リスクマネジメ ント学会	危険と管理 第55号， P91-109
以下，フリー記入				
(所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境社会学会 法と経済学会 PL研究学 会 日本私法学会 日本情報ディレクトリ学会				
(社会貢献活動) 上智大学大学院地球環境学研究科同窓会役員 日本リスクマネジメント学会 理事・事務局長代理				

■ 越 山 健 治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 災害復興からみた福島復興の特質	分担執筆	2024年2月	明石書店	福島復興の視点・論点、編者：川崎興太・ 窪田亜矢・石塚裕子・萩原拓也、96-101頁
(学術論文) 災害復興公営住宅団地の長期的活用と変化 に関する分析	共著	2024年3月	住総研	住総研研究論文集・実践研究報告集 No.50 (2023年度版)、宮定章、139-150 頁、査読有
災害呉のすまいの再建 包括的アプローチ へ——公共住宅の役割の再設定	単著	2024年7月	日本都市計画学会	都市計画369号、Vol.73 No.4、
(その他、論考・研究資料等) 大規模住宅滅失後のすまいの復興事例	分担執筆	2024年3月	ひょうご震災記念21 世紀研究機構	南海トラフ地震及び首都直下地震を対象 とした被害軽減に関する研究——まちづ くり分科会——研究調査中間報告書、 1-10頁
政策提言 AIの震災復興への活用可能性	単著	2024年3月	日本建築学会	日本建築学会都市計画委員会災害対策・ 復興の新手法構築小委員会公開研究会資 料「復興シミュレーション研究の活用」
災害対策本部事務局の体制とデジタル技術 の整備状況について	共著	2024年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.54(2024)、塩津 達哉、有吉恭子、柴野将行、1-4頁
2021年7月河南省水害における避難行動の 調査結果	共著	2024年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.54(2024)、楊東 昇、41-44頁
災害時における安否不明者の氏名公表プロ セスの実態	共著	2024年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.54(2024)、有吉 恭子、柴野将行、北野翔、中本健太、 67-70頁
令和6年能登半島地震時の初動期における 輪島市災害対策本部の空間配置と運営	共著	2024年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.54(2024)、柴野 将行、北野翔、中本健太、有吉恭子、 71-74頁
令和6年能登半島地震における災害対策本 部会議資料の変遷——石川県輪島市の事例	共著	2024年11月	災害情報学会	日本災害情報学会第29回学会大会梗概 集、塩津達哉、有吉恭子、柴野将行、中 本健太、竹原拓馬
災害対応初動期における安否不明情報処理 プロセスのアクター分析	共著	2024年11月	災害情報学会	日本災害情報学会第29回学会大会梗概 集、有吉恭子、柴野将行、北野翔、中本 健太、佐々木俊介
令和6年能登半島地震時の初動期における 輪島市災害対策本部の空間利用と情報活動	共著	2024年11月	災害情報学会	日本災害情報学会第29回学会大会梗概 集、柴野将行、北野翔、中本健太、有吉 恭子
輪島市における災害ケースマネジメントの 実施過程——令和6年能登半島地震の事例 から——	共著	2024年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.55(2024)、齋藤 知宏、柴野将行、羽村龍、佐々木俊介、 有吉恭子、149-152頁
基礎自治体における災害マネジメントコー スの設置——大阪府吹田市を事例として ——	共著	2024年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.55(2024)、柴野 将行、有吉恭子、塩津達哉、153-156頁
令和6年能登半島地震時の受援自治体職員 による対口支援の実態解明——令和6年能 登半島地震の輪島市を事例として——	共著	2024年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.55(2024)、中本 健太、北野翔、佐々木俊介、柴野将行、 有吉恭子、157-160頁
令和6年能登半島地震における災害対策本 部会議の資料分析——石川県輪島市の事例 ——	共著	2024年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.55(2024)、塩津 達哉、有吉恭子、柴野将行、中本健太、 竹原拓馬、161-164頁
施設・避難所等ラピッドアセスメントシー トの行政視点での活用報告	共著	2024年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.55(2024)、有吉 恭子、柴野将行、保下徹、伊藤祐介、佐々 木俊介、165-168頁

研 究 業 績

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) The Effect of Weather Warning on Human Behavior —Case Study of 2018 West Japan Flood Disaster — 災害伝承媒体における「樹木」の意味	単独 共同	2024年4月28日 2024年3月20日	地域安全学会 東日本大震災・原子力災害学術研究集会 実行委員会	5thACUDR, 台湾 東日本大震災・原子力災害 第2回学術研究集会, 福島県
(招待講演) 大規模災害対応時の自治体課題 マルチハザードに備えたまちづくりと防災 広域避難と生活再建 大規模災害対応時の自治体課題 能登半島地震を教訓とした防災・減災について 都市災害復興計画の持つ役割と機能 広域避難と生活再建 行政の初動時における災害対応について 能登半島地震を教訓とした防災・減災について 避難所と在宅避難のあり方について	単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独	2024年5月2日 2024年6月5日 2024年6月19日 2024年8月6日 2024年10月7日 2024年10月12日 2024年10月16日 2024年12月9日 2024年12月15日 2024年12月18日	大阪府内市町村防災 対策協議会 摂津市 人と防災未来センタ ー 金沢市 金沢市議会 日本都市計画学会中 部支部 人と防災未来センタ ー 人と防災未来センタ ー 滋賀県議会 高槻市	大阪府危機対策研修, 大阪府 摂津市防火安全講演会, 大阪府 災害対策専門研修(春) エキスパートコ ースB, 兵庫県 金沢市災害対応研修, 石川県 石川中央都市圏議会連絡会 行政課題研 究会講演会, 石川県 シンポジウム「災害復興にあたり都市計 画に何ができるのか」 災害対策専門研修(秋) エキスパートコ ースB, 兵庫県 災害報道のあり方セミナー, 兵庫県 滋賀県議会地方創生・防災減災対策特別 委員会, 滋賀県 高槻市コミュニティ市民会議地区防災研 修会, 大阪府
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究補助金・基盤研究 A 河川情報センター研究助成	代表 代表	2023-2026 2024-2025	10900 (36000) 1000 (2610)	「復興の総合知」を用いた災害復興社会の シミュレーションと最適戦略策定手法の 提案 大規模水害復興による土地利用・土地所 有構造の変化
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本建築学会 都市計画委員会 小委員会幹事 日本建築学会 学会誌編集委員会 幹事 日本都市計画学会 防災復興特別委員会 地域安全学会 理事 日本災害情報学会 編集委員会 日本火災学会 日本災害復興学会 都市住宅学会 日本危機管理防災学会				
(社会貢献活動) 高槻市市民防災協議会 アドバイザー ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 上級研究員 福島県 東日本大震災・原子力災害伝承館 客員研究員 田辺市平成30年台風第20号災害対応に係る第三者調査委員会 委員 大阪府市町村振興協会「多様な視点を活かした避難所運営ができる仕組みづくり研究会」 指導助言者 金沢市防災アドバイザー				
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪府都市計画審議会 委員				

大阪府住生活審議会耐震改修促進計画推進部会 委員

高槻市総合計画審議会 委員

高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略 委員

鳥取県地震防災調査研究委員会 委員

京都府戦略的地震防災対策推進部会 委員

能登半島地震を踏まえたひょうご災害対策検討会 委員

橿原市新本庁舎建設検討委員会 委員

金沢市令和6年能登半島地震課題検証会議 委員

吹田市防災会議 委員

吹田市環境評価委員審査会 委員

■ 小 山 倫 史

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 土砂崩れ・土石流ハザードの特徴と対策	分担執筆	2024年11月1日	朝倉書店	地域安全学会編. 防災と福祉ガイドブック, 17土砂崩れ・土石流ハザードの特徴と対策. p. 34-35
(学術論文) Soundness Evaluation of Stone Walls in Kanazawa Castle by Self-Organizing Maps (SOM)	共著	2024年1月	Japanese Society for Rock Mechanics (JSRM)	<u>Koyama, T.</u> , Hara, K., Nishida, I., Yamanaka, M., Kitano, H., Tomita, W., Int. J. of the JSRM (special issue for Japan-Korea Joint Symposium on Rock Engineering 2023), 2024; 20(2): 1-6 (paper ID: 15). DOI: https://doi.org/10.11187/ijjrm.240215 (査読有り)
An example of applying text mining in mountain tunnel construction using generative AI	共著	2024年1月	Japanese Society for Rock Mechanics (JSRM)	Kitaoka, T., Moriwaki, K., Sakai, K., <u>Koyama, T.</u> , Int. J. of the JSRM (special issue for Japan-Korea Joint Symposium on Rock Engineering 2023), 2024; 20(2): 1-5 (paper ID: 7). DOI: https://doi.org/10.11187/ijjrm.240207 (査読有り)
福井市高須町における局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度評価およびその住民の早期避難に向けた利活用に関する検討	共著	2024年3月	地盤工学会	<u>小山倫史</u> , 近藤誠司, 山田忠, 地盤工学会ジャーナル, 地盤災害とその対策特集号, 2024; 19(1): 117-126, DOI https://doi.org/10.3208/jgs.19.117 (査読有り).
(その他、論考・研究資料等) 新技術による調査・点検の省力化および調査・点検結果を自動で判断する試み	単著	2024年1月	地盤工学会	地盤工学会誌, 2024; 72(1): 2-7.
地盤工学×AI, 第3回 ディープラーニング (画像データ)	共著	2024年5月	地盤工学会	北岡貴文, 淡路動太, 奥澤康一, 古木宏和, 峯啓一郎, <u>小山倫史</u> , 地盤工学会誌, 2024; 72(5): 46-58.
地盤工学分野における生成 AI 活用への第一歩	共著	2024年6月	地盤工学会	北岡貴文, 大崎ゆい, <u>小山倫史</u> , 地盤工学会誌, 2024; 72(6): 60-61.
地盤工学×AI, 第4回 ディープラーニング (施工データ)	共著	2024年7月	地盤工学会	小林泰三, 熊谷隆宏, 田中宏典, <u>小山倫史</u> , 地盤工学会誌, 2024; 72(6): 72-84.
地盤工学×AI, 第7回 自然言語処理・テキストマイニング	共著	2024年9月	地盤工学会	<u>小山倫史</u> , 戸邊勇人, 坂井一雄, 北岡貴文, 地盤工学会誌, 2024; 72(9): 80-92.
個別要素法による地盤材料のモデリングとその応用, 1. 講座を始めるにあたって	単著	2024年10月	地盤工学会	地盤工学会誌, 2024; 72(10): 54-57
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 自己組織化マップを用いた令和6年能登半島地震に伴う金沢城文化財石垣の被害の分析	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	<u>小山倫史</u> , 原幸平, 山中稔, 北野博司, 西田郁乃, 富田和気夫, 第59地盤工学研究発表会講演概要集, 2024, Paper ID: DS-5-09, pp.1-2 (北海道旭川市)
自己組織化マップを用いた金沢城文化財石垣の変状要因の分析	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	原幸平, <u>小山倫史</u> , 山中稔, 北野博司, 西田郁乃, 富田和気夫, 第59地盤工学研究発表会講演概要集, 2024, Paper ID: DS-5-08, pp.1-2 (北海道旭川市)
気象レーダーによる解析雨量およびその予測値と実測雨量の比較に基づく精度検証	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	黒田さくら, <u>小山倫史</u> , 浅井奏音, 宮崎祐輔, 山口弘誠, 岸田潔, 第59地盤工学研究発表会講演概要集, 2024, Paper ID: 25-12-4-08, pp.1-2 (北海道旭川市)
気象庁の雨雲レーダーによる予報と現地局所雨量観測を組み合わせた土砂災害発生危険度の評価 ― 福井県福井市高須町における事例 ―	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	浅井奏音, <u>小山倫史</u> , 山田忠幸, 第59地盤工学研究発表会講演概要集, 2024, Paper ID: 23-13-1-08, pp.1-2 (北海道旭川市)

民家裏の崖崩壊挙動監視における現状の課題——福井県高須町の観測事例——	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	石田優子, 高橋厚志, 寺本真司, <u>小山倫史</u> , 芥川真一, 第59地盤工学研究発表会講演概要集, 2024, Paper ID: 25-12-1-04, pp.1-2 (北海道旭川市)
2020年度のデータを用いた市町村版GNS2023の作成.	共同	2024年9月2～6日	土木学会	安國恭平, 伊藤和也, 平岡伸隆, <u>小山倫史</u> , 菊本統, 土木学会第79回年次学術講演会講演概要集, 2024, Paper ID: IV-42, pp.1-2 (東北大学, 宮城県仙台市).
機械学習を用いた浸透流・円弧滑り統合解析による安全率の時系列予測	共同	2024年11月26日	地盤工学会	井宮雅裕, 宮崎祐輔, <u>小山倫史</u> , 藤原照幸, 岸田潔, 第64回地盤工学シンポジウム, Paper ID: B-2-6, pp.1-6 (地盤工学会館, 東京都文京区) (査読有り)
画像処理による金沢城文化財石垣の崩落石材同定の開発	共同	2024年11月29日	地盤工学会関西支部	原幸平, <u>小山倫史</u> , 山中稔, 西田郁乃, 富田和気夫, Kansai Geo-Symposium 2024——地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム——論文集, pp.71-76 (関西大学, 大阪府吹田市) (査読有り).
気象庁の雨雲レーダーによる予報と現地局所雨量観測を組み合わせた土砂災害発生危険度の評価——福井県福井市高須町における事例	共同	2024年11月29日	地盤工学会関西支部	浅井奏音, <u>小山倫史</u> , 山田忠幸, Kansai Geo-Symposium 2024——地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム——論文集, pp.41-45 (関西大学, 大阪府吹田市) (査読有り).
気象レーダーによる解析雨量およびその予測値とテレメータ雨量の比較	共同	2024年11月29日	地盤工学会関西支部	黒田さくら, <u>小山倫史</u> , 浅井奏音, 宮崎祐輔, 山口弘誠, 岸田潔, Kansai Geo-Symposium 2024——地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム——論文集, pp.66-70 (関西大学, 大阪府吹田市) (査読有り).
(招待講演) 現地局所雨量観測による土砂災害発生危険度の評価およびその情報伝達・共有の方法について.	単独	2024年9月5日	地山補強ネット工法研究会	環境保全・生産性向上に配慮した斜面对策工法講習会講演会 (ニューオオサカホテル新大阪, 大阪市)
土砂災害に対する早期警戒・避難とその情報伝達のあり方——地域防災の最前線——	単独	2024年10月18日	京都地盤研究会	京都地盤研究会第86回研究会 (京都大学百周年時計台記念館国際ホール, 京都市)
土砂災害における早期警戒・避難——住民参加型斜面計測・モニタリングとは?——	単独	2024年10月27日	兵庫県	令和6年度ひょうご防災リーダー養成講座 (兵庫県広域防災センター, 兵庫県三木市)
インフラの長寿命化にむけた維持管理の取り組み——トンネルを事例として——	単独	2024年10月29日	おおさかATCグリーンエコプラザ実行委員会 (大阪市, アジア太平洋トレードセンター株式会社, 日経新聞社)	おおさかATCグリーンエコプラザビジネス交流会, 水・土壤汚染研究部会セミナー (第126回) (おおさかATCグリーンエコプラザ, 大阪市&オンライン (Zoom))
土砂災害における早期警戒・避難——住民参加型斜面計測・モニタリングとは?——	単独	2024年11月9日	芦屋市	令和6年度芦屋市防災士養成講座, 芦屋市役所, 兵庫県芦屋市.
土砂災害に対する日常防災としての住民参加型斜面計測・モニタリング.	単独	2024年11月10日	日本防災士会	令和6年度日本防災士会スキルアップ研修 (オンライン (Zoom))
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額) (単位: 千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
国土交通省近畿地方整備局・新都市社会技術融合創造研究会	研究代表者	2024～2027年	500 (5000)	道路地下埋設物の三次元データ取得方法の検討およびその施工・維持管理における利活用に関する研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	研究分担者	2023～2026年	300 (5590)	不飽和地盤の微生物固着プロセスシミュレータの開発: 遺構の基礎修復の理想像に向けて (代表: 橋本涼太, 京都大学)
国土技術政策総合研究所, 令和5年度道路政策の質の向上に資する技術研究開発	研究分担者	2023～2026年	220 (21879)	事前通行規制基準の『時間的』・『空間的』適正化に関する技術研究開発 (代表: 岸田潔, 京都大学)

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 土木学会 地盤工学会 資源・素材学会 岩の力学連合会 地下水学会 地すべり学会 計算工学会 地域安全学会 文化財保存科学会
(社会貢献活動) 土木学会，岩盤力学委員会 委員 土木学会，岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会，委員長 土木学会，岩盤力学委員会 岩盤動力学に関する研究小委員会，委員 土木学会，岩盤力学委員会 論文小委員会，委員 土木学会，岩盤力学委員会 岩盤力学改訂版編集小委員会，委員 土木学会，土木学会論文集F2分冊編集小委員会兼地下空間シンポジウム表彰委員会，委員 土木学会，地下空間研究委員会，委員 土木学会，地下空間研究委員会 維持管理小委員会，委員 国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia)，委員 地盤工学会，地盤工学会誌編集委員会，委員長 地盤工学会関西支部，斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会，利活用・教育部会（部会3）部会長 International Society for Rock Mechanics (ISRM)，Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission)，member International Society for Rock Mechanics (ISRM)，Commission on Grouting，member 岩の力学連合会，RockNet 委員会，委員 岩の力学連合会，JSRM 賞選考委員会，委員 国土交通省近畿地方整備局，道路防災ドクター 国土交通省近畿地方整備局，トンネルアドバイザー 国土交通省近畿地方整備局，技術スペシャリスト会議 トンネル技術研究会，委員 国土交通省近畿地方整備局，国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会，委員 大阪府，道路防災対策等に関する技術検討会，委員 奈良県，奈良県道路斜面防災点検検討委員会，委員 猪名川町教育委員会，猪名川町多田銀銅山遺跡保存活用委員会，委員 西日本高速道路株式会社，関西支社技術アドバイザー 阪神高速先進技術研究所，土工構造物検討委員会，委員 阪神高速先進技術研究所，土木構造物点検診断技術者資格認定委員会，委員 西日本旅客鉄道(株)，コンクリート構造物の維持管理技術に関する検討委員会，トンネル分科会，委員 原子力発電環境整備機構 (NUMO)，技術アドバイザー委員会，委員 日本原子力研究開発機構 (JAEA)，ニアフィールド長期環境変遷評価技術開発委員会，委員
(その他業績として記載を希望する事項) 【記事掲載】「被災地の文化財修復も今後の課題」，産経新聞，2024年3月11日，夕刊2面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【記事掲載】「大雨「半日前予報」余裕ある避難を」，産経新聞，2024年6月17日，夕刊2面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【記事掲載】「線状降水帯 予測向上に苦心 府県単位で「警戒」呼び掛け」「こまめに気象情報の確認を」，半日前予発表時の避難に向けた取るべき行動について解説，産経新聞，2024年6月21日，朝刊3面 【記事掲載】「多かった土砂災害 教訓共有を」，産経新聞，2024年11月19日，夕刊2面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【テレビ番組】能登半島地震で甚大な液状化被害「想定マップ」関西の取り組みは？南海トラフ地震では内陸部も被害想定，読売テレビ「かんさい情報ネットten.」，2024年1月9日

■ 近 藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有場合はその旨
(著書)				
災害情報学の挑戦 無限の可能性を拓く	単著	2024年12月	関西大学出版部	pp.1-214. (こころの災害情報学シリーズ4)
やってみた！いのちを守る64の防災活動 小学生の体験レポート+専門家のアドバイス	協力	2024年2月	さくら社	関西大学初等部6年生(第11期生)(著) アドバイスのふきだしの箇所の執筆
アクションリサーチ	分担執筆	in printing	丸善出版	『グループ・ダイナミックス事典』
(学術論文)				
大阪府内の学校教職員における「子ども食堂」などの子ども支援サービスのニーズに関する実態調査	共著	2024年12月15日	厚生労働統計協会	厚生の指標, Vol.71, No.14, 廣川空美・菊池美奈子・大井美紀・馬場幸子・植田紀美子・元吉忠寛・近藤誠司, pp.31-38. (査読あり)
大学生を対象とした災害報道版クロスロードの試行	共著	2024年12月24日 accepted	社会安全学部	社会安全学部研究, 第15巻, 近藤誠司・岩本乃蒼, 査読なし(研究ノート)
初の「南海トラフ地震臨時情報」発表に関する実態調査 ——新聞報道の内容分析と大学生対象のアンケートから——	単著	in printng	防災教育学会	防災教育学会5-2 (査読あり)
(その他, 論考・研究資料等)				
京丹波町自主放送事業アンケート(令和5年度実施)——調査結果報告書——	単著	2024年3月	京都府京丹波町	京丹波町公式ウェブサイト, 全18頁
偶有性をまなごす ——令和6年能登半島地震をふまえて——	単著	2024年4月	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部ウェブサイト
百世安堵34「贅沢なリスク」	単著	2024年1月	稲むらの火の館	やかただより No.159
百世安堵35「福祉BCPに込めた覚悟」	単著	2024年2月	稲むらの火の館	やかただより No.160
百世安堵36「奇跡の奇跡のアジサイ」	単著	2024年3月	稲むらの火の館	やかただより No.161
百世安堵37「防災教育10年の成果」	単著	2024年4月	稲むらの火の館	やかただより No.162
百世安堵38「特殊性・普遍性・偶有性」	単著	2024年5月	稲むらの火の館	やかただより No.163
百世安堵39「確率論と決定論のあわい」	単著	2024年6月	稲むらの火の館	やかただより No.164
百世安堵40「災害情報をめぐる偶有性2.0」	単著	2024年7月	稲むらの火の館	やかただより No.165
百世安堵41「風化と熟成」	単著	2024年8月	稲むらの火の館	やかただより No.166
百世安堵42「無念と無惨」	単著	2024年9月	稲むらの火の館	やかただより No.167
百世安堵43「子どもの権利条約」	単著	2024年10月	稲むらの火の館	やかただより No.168
百世安堵44「平均値の罠」	単著	2024年11月	稲むらの火の館	やかただより No.169
百世安堵45「災害時の活動補償について」	単著	2024年12月	稲むらの火の館	やかただより No.170
広報京丹波 安心ほっと便り	単著	隔月発刊	京都府京丹波町	広報京丹波No.219, 221, 223, 225, 227, 229
大阪市淀川区地区防災計画(改訂版)	監修	in printng	淀川区	東三国地区・塚本地区・新北野地区・新東三国地区
奨励賞受賞 代表者コメント「防災事業における外部変数に関する基礎的考察——福井市高須集落における避難計画策定プロジェクトを例に——」	単著	2024年3月	地区防災計画学会	地区防災計画学会誌29号
「いのちの防災」に尽力しよう	単著	2024年10月	高槻市日吉台コミュニティ	広報誌「日吉台地区だより」58号
阪神・淡路大震災30年 いのちを守る災害報道 地域に根ざしたメディアの挑戦	共同	in printng	地方の時代映像祭実行委員会	第44回地方の時代映像祭シンポジウム「阪神・淡路大震災30年 いのちを守る災害報道 地域に根ざしたメディアの挑戦」報告書
災害報道に求められる4つの“本”	単著	in printng	GALAC	特集「阪神淡路30年, 能登1年, 災害報道アップデート」, p.17
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
Gateway to 災害報道版クロスロード ジレンマに向き合うために	単独	2024年3月5日	映像メディアと公共性研究会	オンライン

研 究 業 績

Project-Based Learning その実際について	単独	2024年9月17日	映像メディアと公共性研究会	オンライン
みんなのぼうさい ～防災と福祉を架橋する～	共同	2024年11月1日	高槻市介護保険事業者協議会	令和6年度高槻市介護等実践発表会、三枝千夏・山根奏楽・黒田愛実、於
災害情報の光と影 “リスコミ”と“コミリス”	単独	2024年12月18日	災害伝承・コミュニケーション等に関する研究倫理研究会	於関西大学梅田キャンパス
(招聘講演) みんなのぼうさい～2023年度プロジェクト報告～	共同	2024年2月21日	京都府京丹波町	京丹波町×関西大学社会安全学部活動報告会、於京丹波町役場（小山研究室と合同で開催）
ぼうさい いのち・みらい	単独	2024年3月11日	福島県西郷村	防災交流授業、於羽太小学校
災害情報の共有策 情報の“リアリティ”を考える	単独	2024年3月18日	NHK 長崎放送局	防災研修会、於NHK 長崎放送局
みんなのぼうさい ～災害頻発時代に立ち向かう～	単独	2024年4月26日	大阪府立北野高校	防災特別授業、於北野高校
防災 ことはじめ ～大切ないのちの問題～	単独	2024年6月3日	京都府立木津高校	防災特別授業（前半）、於木津高校
防災＝いのちの問題 「授業」によるアプローチ	単独	2024年6月3日	京都府立木津高校	防災特別授業（後半）、於木津高校
南海トラフにどう備えるか ともに考える	単独	2024年6月18日	NHK 大阪放送局	震災30年民Nプロ・7社合同勉強会、ABC朝日放送
地区防災計画はみんなのもの	単独	2024年6月29日	大阪市淀川区	大阪市淀川区 地区防災計画改定プロジェクト（2期）報告会、淀川区役所5階会議室
Let's 防災プロジェクト	共同	2024年7月4日	京都府京丹波町	防災特別授業、於京丹波町立蒲生野中学校
災害情報の光と影 防災力を高める情報力	単独	2024年7月5日	「震災対策技術展」大阪	第11回「震災対策技術展」in 大阪、於マイドームおおさか
災害情報の光と影 防災力を高める情報力	単独	2024年7月5日	EJ アカデミー	EJ アカデミー 命を守るための災害情報学Ⅱ 第1回 前半、オンライン
災害情報のパラドクス 当事者性を確保する視座	単独	2024年7月5日	EJ アカデミー	EJ アカデミー 命を守るための災害情報学Ⅱ 第1回 後半、オンライン
どう伝える 災害情報 あらたな高みを目指して（前半）	単独	2024年7月12日	NHK 宮崎放送局	防災勉強会（前半）、於NHK 宮崎放送局
どう伝える 災害情報 あらたな高みを目指して（後半）	単独	2024年7月12日	NHK 宮崎放送局	防災勉強会（後半）、於NHK 宮崎放送局
危機を乗り切る“共同性” ポスト・ポスト・トゥルースの時代へ	単独	2024年7月12日	EJ アカデミー	EJ アカデミー 命を守るための災害情報学Ⅱ 第2回、オンライン
災害情報を活用する	単独	2024年7月13日	関西大学教育後援会	特別講演 災害多発時代に備えるために、於ホテル JAL シティ宮崎
ディスカッション・DEEP いのちを守るために	単独	2024年7月22日	NHK 大阪放送局	震災30年民Nプロ・7社合同勉強会、MBS 毎日放送
災害報道版クロスロード 演習 リアリティの共同構築	単独	2024年7月26日	EJ アカデミー	EJ アカデミー 命を守るための災害情報学Ⅱ 第3回、オンライン
ぼうさいの輪を広げよう ～防災教育・安全管理・地域連携～	単独	2024年7月31日	京都府教育庁	令和6年度学校安全教室指導者講習会、於ガレリア亀岡「コンベンションホール」
地区防災計画と地域防災の実践活動	単独	2024年8月4日	兵庫県	令和6年度淡路地域ひょうご防災リーダー講座（基礎コース）、於兵庫県洲本総合庁舎3階会議室
危機管理下の情報発信 —— マスコミ対応の在り方も含めて ——	単独	2024年8月6日	全国市町村国際文化研修所（JIAM）	令和6年度管理職のためのクライシス・コミュニケーション～危機に直面したときの適切な情報発信～、於全国市町村国際文化研修所

Let's enjoy a very cool campus life together 社安生 トークショー	共同	2024年8月24日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部サマーキャンパス、於ミュージズホール
社会安全学部キャンパス訪問ガイダンス 木津高生 防災交流授業	共同	2024年8月26日	京都府立木津高校	防災交流授業、於ミュージズホール
かんさいだいがくのせんばいとかたつべし	共同	2024年8月28日	宮城県立多賀城高校	防災交流授業、於宮城県立多賀城高校
羽太小学校 防災教室 これからの自分にできること	単独	2024年8月30日	福島県西郷村	防災交流授業、於羽太小学校
災害リスクコミュニケーション “インクルーシブ防災”の輪を広げよう	単独	2024年9月7日	石川県	令和6年度防災士スキルアップ研修、於地場産業振興センター本館 大ホール
みんなのぼうさい 近藤ゼミのプロジェクト報告	共同	2024年9月20日	高槻東ロータリークラブ	防災交流発表会、於ミュージズホール
いのちのぼうさい ～広げよう、“まなび愛”の輪～	単独	2024年9月28日	高槻市日吉台コミュニティ	第2回防災福祉連絡会、於高槻日吉台しんわ会館
みんなのぼうさい ～まなび合い、まなび愛～	単独	2024年10月4日	大阪府立北摂つばさ高校	防災交流授業、於大阪府立北摂高校
防災講話「みんなのぼうさい」	単独	2024年10月21日	福島県西郷村	防災交流授業、於羽太小学校
地区防災計画と地域防災の実践活動	単独	2024年10月26日	兵庫県	令和6年度淡路地域ひょうご防災リーダー講座（基礎コース）、於兵庫県広域防災センター
みんなのぼうさい ～経験をチカラに～	単独	2024年10月27日	尼崎市難病患者団体連絡協議会	尼難連講演交流会 要援護者災害シンポジウム（9） 阪神・淡路大震災から30年 これからの防災を考える、尼崎市立身体障害者福祉会館 大ホール
避難の計画づくり、進めましょう（2）	単独	2024年11月3日	福井市高須集落自治会	防災交流会、於福井市高須町集落センター
みんなのぼうさい ～まなび合い、まなび愛～	単独	2024年11月6日	大阪府立高槻北高校	防災交流授業、於大阪府立高槻北高校
みんなのぼうさい “インクルーシブ防災”の輪を広げよう	単独	2024年11月7日	兵庫県立西宮今津高校	防災交流授業、於兵庫県立西宮今津高校
阪神・淡路大震災30年 いのちを守る災害報道 地域に根ざしたメディアの挑戦	共同	2024年11月9日	地方の時代映像祭実行委員会	第44回地方の時代映像祭シンポジウム「阪神・淡路大震災30年 いのちを守る災害報道 地域に根ざしたメディアの挑戦」、於関西大学千里山キャンパス
みんなのぼうさい 山田学区の力を結集しよう	単独	2024年11月17日	滋賀県草津市山田学区まちづくり協議会	防災講演会、不動浜会館
危機管理広報の要諦 コミュニケーションの観点から	単独	2024年11月25日	BERC 関西研究会	経営倫理実践研究センター（BERC）関西研究会、於関西大学梅田キャンパス
三井住友海上福祉財団奨励賞受賞 記念講演「“まなび合い”が育む愛のかたち～防災教育学の新機軸10年の挑戦から～」	単独	2024年11月26日	三井住友海上福祉財団	三井住友海上福祉財団贈呈式典、於住友会館
災害報道の意義と困難性～クロスロード演習で考える～	単独	2024年12月6日	東北公益文科大学	於東北公益文科大学酒田キャンパス
巨大地震に立ち向かうために ～我が事にする、我々事にする～	単独	2024年12月10日	亀岡市危険物安全協会	亀岡市危険物安全協会危険物保安研修会、於ガレリア亀岡
みんなのぼうさい ～ささえ愛、まなび愛～	単独	2024年12月17日	大阪府島本町社会福祉協議会	令和6年度ささえ愛ネットワーク講演会、於ふれあいセンターケヤリホール
みんなのぼうさい ～関大社安・近藤研究室～	共同	2024年12月21日	ぼうさい甲子園事務局（兵庫県・毎日新聞社）	令和6年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会、於兵庫県公館
山田学区防災アンケート集計速報フィードバック	単独	2024年12月21日	滋賀県草津市山田学区まちづくり協議会	山田学区まちづくり協議会防災部会、於山田学区まちづくりセンター2階
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業	代表	2024年度	300千円	難病患者・障害児者の防災力向上プロジェクト
大阪ガスグループ福祉財団	代表	2024年度	700千円	高齢者ならびに介護施設の防災力向上策に関する研究

研 究 業 績

関西大学 2024年度地域連携活動に対する補助事業	代表	2024年度	100千円	福島県西郷村における防災学習交流プロジェクト
2024年度地区防災計画モデル事業	代表	2024年度	143千円	福井市高須集落における地区防災計画策定
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本災害情報学会 理事				
日本災害復興学会 理事				
地区防災計画学会 幹事				
社会貢献学会 理事				
日本自然災害学会				
日本安全教育学会				
防災教育学会				
日本グループ・ダイナミックス学会（2024.12.31.退会）				
日本質的心理学会（2024.12.31.退会）				
(その他業績として記載を希望する事項)				
京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 客員教授				
徳島大学大学院創生科学研究科 非常勤講師				
京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 運営協議会委員				
堺市南区政策部会 特別構成員				
滋賀県草津市山田小学校区まちづくり協議会 アドバイザー				
大阪市淀川区地区防災計画改訂事業 アドバイザー（夏まで）				
高槻市第八中学校区学校運営協議会 委員				
NHK 大阪放送局「関西ラジオワイド・防災コラム」 レギュラーコメンテーター				
えふえむ草津「HappyBOUSAi」第159回～第182回 放送（台本監修）				
あま咲き放送局「あま咲き防災ラボ」第14回～第65回 放送（台本監修）				
「1.17防災未来賞・ほうさい甲子園」大学部門・優秀賞（10年連続入賞）				
関西大学学長奨励表彰（7年度連続受賞）				
滋賀県草津市 いまこそ語ろう“防災”をに参加（2024.2.21.キラリエ草津）				
島本町社協祭りに防災ブースを出展（2024.9.8.）				
第17回日吉台地区総合防災訓練に防災ブースを出展（2024.11.24.高槻市立日吉台小学校）				
特別養護老人ホームけま喜楽苑の防災訓練に参加（2024.11.24.尼崎市けま喜楽苑）				
尼崎市市民祭りに防災ブースを出展（2023.10.6.）				
福島県西郷村「つるの子フェスティバル」に防災ブースを出展（2024.10.20.西郷村立羽太小学校）				
地区防災計画学会 論文奨励賞（「防災事業における外部変数に関する基礎的考察——福井市高須集落における避難計画策定プロジェクトを例に」〔地区防災計画学会誌第28号掲載〕				
三井住友海上福祉財団 奨励賞 著書『防災教育学の新機軸 まなび合いのアクションリサーチ』が受賞（2024.11.26.）				
阪神・淡路大震災30年 関西民放NHK 連携プロジェクト7 社合同勉強会の活動支援				
OS シネマ 「みんなのほうさい」 スポット動画の企画制作（2024年2月～3月に映画館で上映）				
「阪神・淡路大震災とひょうご21世紀研究機構の20年」 資料映像の監修				
J: COM 震災アーカイブ「未来へつなぐ 語り部の声」 制作協力				
令和6年度「新大阪駅及び駅周辺企業等の帰宅困難者対策事業」業務委託にかかる公募型プロポーザル選定委員				

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称,「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁,査読有の場合はその旨
(学術論文)				
能登半島地震の発生を踏まえて僻地の社会 医学を展望する	単著	2024年10月	日本社会医学会	社会医学研究, 41巻1号, 1-11.
わが国の健康医療ケアのEBPMの現状— アカデミアと実務機関との連携	単著	2024年7月	医学書院	公衆衛生 88巻7号 692-700.
根拠に基づいて健康政策(EBHP)を進め るために	単著	2024年10月	医学書院	公衆衛生 88巻10号 1040-1046.
(その他の著作・論考等)				
特別寄稿 結核低まん延時代の保健師・看 護師の役割を展望する	単著	2024年8月	結核予防会	保健師・看護師の結核展望, 62巻, 1号 (通巻123号), 75-82.
(論文翻訳監修)				
神経セロイドリポフスチン症2型(CLN2) の小児におけるセルリボナーゼ アルファ: オープンラベル延長試験 Safety and efficacy of cerliponase alfa in children with neuronal ceroid lipofuscinosis type 2 (CLN2 disease): an open-label extension study Lancet Neurol. 2024 Jan; 23(1): 60-70. doi: 10.1016/S1474-4422 (23) 00384-8.	翻訳監修	2024年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202502ta/
UK バイオバンクデータを使った認知症前 の精神疾患診断と全原因による認知症関連 の多遺伝子性認知症リスクとの関連の検討 Association between pre-dementia psychiatric diagnoses and all-cause dementia is independent from polygenic dementia risks in the UK Biobank EbioMedicine. 2024 Jan 31: 104978. doi: 10.1016/j.jebiom.2024.104978. Online ahead of print.	翻訳監修	2024年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202503ta/
重症筋無力症に対するアザチオプリンとミコ フェノール酸モフェチルの有効性の比較評 価(PROMISE-MG): 前向きコホート研究 Comparative effectiveness of azathioprine and mycophenolate mofetil for myasthenia gravis (PROMISE-MG): a prospective cohort study Lancet Neurol. 2024 Mar; 23(3): 267-276. doi: 10.1016/S1474-4422 (24) 00028-0.	翻訳監修	2024年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202504ta/
患者の臨床症状及び生物学的所見をもとに したシェーグレン病の患者のクラスター分 類: 横断的及び前向き2つのコホートの 患者データを用いた研究 Identification of distinct subgroups of Sjögren's disease by cluster analysis based on clinical and biological manifestations: data from the cross- sectional Paris-Saclay and the prospective ASSESS cohorts Lancet Rheumatol. 2024 Apr; 6(4): e216-e225. doi: 10.1016/S2665-9913 (23) 00340-5. Epub 2024 Mar 1.	翻訳監修	2024年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202505ta/

研 究 業 績

ダウン症候群と優性遺伝性アルツハイマー病の患者におけるタウ分布領域の比較：断面的調査研究 Comparison of tau spread in people with Down syndrome versus autosomal-dominant Alzheimer's disease: a cross-sectional study Lancet Neurol. 2024 May; 23(5): 500-510. doi: 10.1016/S1474-4422 (24) 00084-X.	翻訳監修	2024年 5 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202506ta/
IgG 4 関連疾患の臨床表現型の予測因子及び免疫応答の決定因子としての性差の違いの検討：米国リウマチ学会 - 欧州リウマチ学会分類基準患者を対象とした後ろ向き研究による Sex as a predictor of clinical phenotype and determinant of immune response in IgG4-related disease: a retrospective study of patients fulfilling the American College of Rheumatology-European League Against Rheumatism classification criteria Lancet Rheumatol. 2024 Jul; 6 (7): e460-e468. doi: 10.1016/S2665-9913 (24) 00089-4. Epub 2024 May 30.	翻訳監修	2024年 6 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202507ta/
米国の2007-2021年の自己免疫性リウマチ性疾患の新規登録患者における疼痛管理方法の年次推移の検討：医療保険請求データを用いた研究 Annual trends in pain management modalities in patients with newly diagnosed autoimmune rheumatic diseases in the USA from 2007 to 2021: an administrative claims-based study Lancet Rheumatol. 2024 Jun 27; S2665-9913 (24) 00120-6. doi: 10.1016/S2665-9913 (24) 00120-6. Epub 2024 Jun 27.	翻訳監修	2024年 7 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202508ta/
パーキンソン病患者におけるリー・シルバーマン発声発話療法, NHS スピーチ言語療法, 構音障害コントロールの比較研究 (PD COMM Study)：英国における多施設共同による 3 群の同時並行の非盲検無作為化対照試験 Lee Silverman voice treatment versus NHS speech and language therapy versus control for dysarthria in people with Parkinson's disease (PD COMM): pragmatic, UK based, multicentre, three arm, parallel group, unblinded, randomised controlled trial BMJ. 2024 Jul 10; 386: e078341. doi: 10.1136/bmj-2023-078341.	翻訳監修	2024年 8 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202509ta/
イングランドにおける食物アレルギーの疫学動向：Clinical Practice Research Datalink を使った観察データによる分析 Time trends in the epidemiology of food allergy in England: an observational analysis of Clinical Practice Research Datalink data Lancet Public Health. 2024 Sep; 9 (9): e664-e673. doi: 10.1016/S2468-2667 (24) 00163-4.	翻訳監修	2024年 9 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202510ta/

Susac 症候群のグルココルチコイド治療とそれに加えて免疫抑制薬または静注免疫グロブリン製剤を加えた治療の比較評価：フランスの全国患者のコホート研究 Immunosuppressive agents or intravenous immunoglobulin in addition to glucocorticoids in the treatment of Susac syndrome: a French national cohort study Lancet Rheumatol. 2024 Sep 18; S2665-9913 (24) 00220-0. doi: 10.1016/S2665-9913 (24) 00220-0. Online ahead of print.	翻訳監修	2024年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202511ta/
大うつ病性障害者における白質微小構造と認知機能低下との関連性：ドイツにおける前向き症例対照コホート研究から Associations between white matter microstructure and cognitive decline in major depressive disorder versus controls in Germany: a prospective case-control cohort study Lancet Psychiatry. 2024 Nov; 11(11): 899-909. doi: 10.1016/S2215-0366 (24) 00291-8.	翻訳監修	2024年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202512ta/
特発性脳内出血患者に対する手術後のアセチルサリチル酸の早期投与と晩期投与の安全性および有効性の比較（E-start 試験）：中国における多施設共同前向き非盲検エンドポイント盲検化無作為化試験 Safety and efficacy of early versus delayed acetylsalicylic acid after surgery for spontaneous intracerebral haemorrhage in China (E-start): a prospective, multicentre, open-label, blinded-endpoint, randomised trial Lancet Neurol. 2024 Dec; 23(12): 1195-1204. doi: 10.1016/S1474-4422 (24) 00424-1.	翻訳監修	2024年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202501ta/
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
高槻市富田町における子ども食堂の食育活動の事例の検討	共同	2024年 8 月24日	日本社会医学会	第65回日本社会医学会総会、久留米市(久留米大学医学部)
ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その1）——学芸員の活動から——	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会、札幌市(札幌コンベンションセンター)
ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その2）——地域固有性の観点から——	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会、札幌市(札幌コンベンションセンター)
ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その3）——近畿地方の特殊な歴史——	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会、札幌市(札幌コンベンションセンター)
シンポジウム 改めてコロナ禍と保健所・保健師活動を考える	単独	2024年 2 月20日	全国保健師活動研究会	第56回全国保健師活動研究集会、京都市(京都 JA ビル)
シンポジウム 新型コロナウイルス感染症の教訓と課題：将来の健康危機への備え——新型コロナウイルス感染症に対処した日本の保健医療の到達度と社会医学の課題	単独	2024年 8 月25日	日本社会医学会	第65回日本社会医学会総会、久留米市(久留米大学医学部)
シンポジウム 健康危機に強い地域づくりを考える——感染症の健康危機に強い地域づくり——	単独	2024年 9 月28日	日本看護学会	第55回日本看護学会学術集会、熊本市(熊本城ホール)

研 究 業 績

(講演)				
結核脆弱者層の課題と対策	単独	2024年3月7日	公益法人結核予防会 結核研究所	第28回国際結核セミナー・結核対策推進 会議【オンライン開催】
近畿におけるハンセン病患者の歴史～光明 皇后から邑久光明園～	単独	2024年10月23日	NPO Klub Zukunft	クラブ・ツークンフト第218回月例会 大阪市（大阪公立大学文化交流センタ ー）
介護従事者が知っておくべき結核の理解	単独	2024年11月11日	高槻市保健所	高槻市保健所介護従事者結核研修会、高 槻市保健所講堂
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本社会医学会・理事長				
日本公衆衛生学会・災害・緊急時公衆衛生活動委員会・委員				
日本結核・非結核性抗酸菌症学会・功労会員				
(社会貢献活動)				
大阪府教育委員庁・学校保健指導医（学校保健技師）				
大阪府立学校職員健康審査会・常任委員				
大阪府立学校結核対策審議会・委員				
東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員				
高槻市地域包括ケア推進会議・委員長				
高槻市保健医療審議会・委員				
高槻市感染症診査協議会・委員				
枚方市健康増進計画審議会・会長				
公益法人大阪成人病予防協会・評議員				
医学書院 雑誌公衆衛生・編集委員				
(公財)日本建築衛生管理教育センター・教務委員会・委員長				
ストップ結核パートナーシップ日本・理事				
社会福祉法人大阪社会医療センター・評議員				
大阪市結核対策評価委員会・委員				
大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師（医科学修士 国際健康政策学）				

■ 高 野 一 彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(論考・研究資料等) 不祥事をなくす経営	単著	2024年7月8～ 12日、15～19日	日本経済新聞	同紙朝刊「やさしい経済教室」に10回連載。論題は、第1回「経営危機に直面する問題」、第2回「体制整備に動いた大企業」、第3回「内部統制システムの要諦」、第4回「法令順守体制の有効性」、第5回「企業価値増進への取り組み」、第6回「『コストセンター』の変貌」、第7回「3要素が引き起こす不正」、第8回「あるべき情報管理の姿」、第9回「グローバルな視点が不可欠」、第10回「危機に強い企業をつくる」。
発表・講演の題目	共同・単独等	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会・学術団体発表) コンプライアンス経営と企業風土 ― 不祥事の要因と発生を防止するための組織づくり ― クライシスマネジメント研究の重要性	単独 単独	2024年2月13日 2024年2月17日	日本鉄鋼協会 日本経営倫理学会	技術部会第6回共通特別講演会で招聘講演、オンラインで実施 クライシスマネジメント研究部会 発足記念シンポジウム、於 関西大学東京センター（東京）とZOOMによるハイブリッド開催
近年多発する企業事件の発生原因からの示唆	単独	2024年3月30日	堀部政男情報法研究会	同研究会シンポジウム、於 関西大学東京センター（東京）とZOOMによるハイブリッド開催
近年多発する企業事件の発生原因からの情報法コンプライアンスへの示唆	単独	2024年7月18日	日本DPO協会	第28回個人情報保護セミナーで招聘講演、ZOOMによる開催
近年の企業不祥事の傾向とその背景	単独	2024年7月19日	経営倫理実践研究センター	オープンセミナーを主催、於 BERC 講義室（東京）とZOOMによるハイブリッド開催
不確実な時代のクライシスマネジメント	単独	2024年7月27日	日本セキュリティ・マネジメント学会	第37回全国大会で基調講演、於京都橋大学（京都）
企業不祥事の動向と見直しのポイント	単独	2024年8月21日	日本規格協会	品質経営システム研究会で招聘講演、於日本規格協会（東京）
研究倫理（著作権と情報管理）と本学会のcitation rule	単独	2024年8月31日	日本経営倫理学会	2024年度研究法ワークショップで講演、及び座談会に登壇、於 関西大学東京センター（東京）とZOOMのハイブリッド開催
企業保有情報の利活用とプライバシー～プライバシーと企業法務の発展系譜～	単独	2024年9月28日	堀部政男情報法研究会	シンポジウム「日本における“プライバシー”の過去・現在・未来～「宴のあと」東京地裁判決（1964年9月28日）60周年を契機に議論～」での講演、於 日本橋ライフサイエンスハブ（東京）とWebexのハイブリッド開催
不祥事がおきない経営 ― 近年の企業不祥事の動向とコンプライアンス経営のポイント ―	単独	2024年12月23日	監査役協会	関西支部 中堅企業監査実務部会合同部会 講演会で招聘講演、同協会講義室（大阪）
(招待講演) 経営の視点から考えるコンプライアンス上の論点～最近の企業不祥事の実例等も交えながら～ 法務 ― 企業経営に必要な法律と管理運営上の課題 ― コンプライアンス問題の発生を防止するための部門におけるリスクマネジメントの在り方	単独 単独 単独	2024年1月10日 2024年1月17日、1月26日 2024年2月27日	西日本高速道路株式会社 大和製織株式会社 NEC フィールディング株式会社	役員講演会で招聘講演、於 グランフロント大阪カンファレンスルーム（大阪） 2023-24年度管理職実践研修で招聘講義、於 本社（東京） コンプライアンスセミナーで招聘講演、於 同社本社（東京）

研 究 業 績

社内ルールの遵守とコンプライアンス — 情報の取扱いをケースとして —	単独	2024年3月4日、3月8日	武田薬品工業株式会社	企業倫理・コンプライアンス研修（第1部）で招聘講演、ZOOMで実施
製品事故をテーマとしたトレーニング	単独	2024年3月25日	株式会社アデランス	クライシス・シミュレーション・トレーニング、於 同社本社（東京）
SPEAK UP	単独	2024年3月27日、3月28日	武田薬品工業株式会社	企業倫理・コンプライアンス研修（第2部）で招聘講演、ZOOMで実施
コンプライアンス経営と企業風土 — 不祥事の要因と発生を防止するための組織づくり —	単独	2024年4月19日	日本たばこ産業株式会社	2024年度役員向けコンプライアンスセミナーで招聘講演、於 早稲田スタジオ（東京）、90分の講義動画撮影
役員のためのコンプライアンス経営	単独	2024年5月9日	株式会社 日立システムズ	2024年度新任役員研修で招聘講演、Webex で実施
グローバル企業の役員のためのコンプライアンス経営	単独	2024年5月10日	株式会社 アデランス	2024年度新任役員研修で招聘講義、於 同社本社（東京）
コンプライアンス経営と企業風 — 不祥事の要因と発生を防止するための組織づくり —	単独	2024年6月3日、6月6日	静岡ガス株式会社	管理職対象 コンプライアンス研修で招聘講演、於 同社本社と Teams によるハイブリッド開催
経営者としてのコンプライアンス経営 — 不祥事の要因と発生を防止するための組織づくり —	単独	2024年6月7日	田中貴金属グループ	役員対象コンプライアンス研修で招聘講義、於 同社本社（東京）
クライシスマネジメントとリスク管理 — 不祥事の発生防止とクライシスに強い組織づくり —	単独	2024年6月17日	光英 VERITAS 中学校・高等学校	コンプライアンス研修で招聘講演、於 同校講堂（千葉）
コンプライアンス	単独	2024年7月8日	東急不動産株式会社	2024年度4年目コンプライアンス研修で招聘講演、於 同社本社（東京）
情報の持ち去り事件からコンプライアンスを考える	単独	2024年7月17・22日、8月19日	株式会社エクシング	管理職コンプライアンス研修 で招聘講演、オンラインで実施
情報セキュリティと SNS 投稿リスク	単独	2024年7月26日	理研ビタミン株式会社	CSR 研修会で招聘講演、於 同社本社（東京）
企業不祥事の動向とコンプライアンス経営のポイント	単独	2024年8月20日	株式会社 久米設計	役員勉強会で招聘講演、於 同社本社（東京）
近年の企業不祥事の動向とコンプライアンス経営のポイント	単独	2024年10月4日	アズビル株式会社	コンプライアンス役員セミナー で招聘講演、同社本社（東京）
検査不正事件から自社・自部門の組織の健康を考える	単独	2024年10月11日、16日、21日	株式会社エクシング	管理職コンプライアンス研修で招聘講演、ZOOMで実施
コンプライアンス経営	単独	2024年10月17日	中日本高速道路株式会社	2024年度所長研修で招聘講演、ZOOMで実施
企業価値を創造するコンプライアンス経営	単独	2024年10月24日	日本生産性本部	2024年度経営アカデミー マネジメント・ケイパビリティ 役員コースで招聘講義、同本部講義室（東京）
リスクマネジメントとコンプライアンス	単独	2024年11月7日	中日本高速道路株式会社	2024年度部長研修で招聘講演、ZOOMで実施
近年の企業不祥事の動向とコンプライアンス経営のポイント	単独	2024年11月18日	株式会社日立医薬情報ソリューションズ	役員向け研修で招聘講演、同社本社（東京）
不祥事がおきない経営	単独	2024年11月18日	東日本高速道路株式会社	コンプライアンス講演会で招聘講演、同社本社（東京）
近年の企業不祥事の動向とコンプライアンス経営のポイント	単独	2024年11月26日	関西電力株式会社	内部監査調査研究会で招聘講演、同社本社（大阪）
近年の企業不祥事の動向とコンプライアンス経営のポイント	単独	2024年12月2日	日本原燃株式会社	経営層対象コンプライアンス研修で招聘講演、同社本社（青森）
ケース・ディスカッションで学ぶ、実効性を高める内部統制フレームワーク講座	単独	2024年12月6日	新建新聞社	リスク対策 .com「実践的リスクマネジメント講座」で招聘講義、katana オフィス六本木セミナー室（東京）
近年の企業事件・不祥事の動向と見直しのポイント — 風通しの良い組織風土の醸成とコンプライアンス経営 —	単独	2024年12月12日	新建新聞社	リスク対策 .com オンライン・セミナー「リスク総括2024」で招聘講演、録画（東京撮影）
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本経営倫理学会 理事（2011年6月～）、常任理事（2017年6月～現在）、同学会クライシスマネジメント研究部会 主査（2023年8月～現在）				

情報ネットワーク法学会 監事（2012年1月～現在）、同学会ネット社会法務研究会 主査（2019年3月～2021年3月） 日本リスクマネジメント学会 監事・評議員（2008年9月～）、理事（2021年3月～現在） ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事（2013年～現在） 堀部政男情報法研究会 理事（2010年4月～）、監事（2019年1月～現在） 日本DPO協会 顧問（2020年1月～現在） 日本リスク学会 会員 法とコンピュータ学会 会員 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員 情報法制学会 会員
（社会貢献活動） 経営倫理実践研究センター フェロー（2010年4月～）、主任研究員（2011年4月～）、上席研究員（2012年4月～現在）、理事（2023年6月～現在） 神戸市 行政データ利活用アドバイザー（2024年6月～現在） 情報法制研究所 参与（2016年5月～現在） 株式会社アデランス 社外取締役（2016年5月～現在） 西日本旅客鉄道株式会社 アドバイザー（2018年3月～現在）、グループリスクマネジメント委員会 社外委員（2023年3月～現在） 西日本高速道路株式会社 コンプライアンス委員会 委員（2021年4月～現在） 公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員（2014年11月～現在） ベネッセ教育総合研究所 研究倫理委員会 委員（2024年7月～現在） 株式会社久米設計 経営監査委員会 委員長（2024年2月～現在） 株式会社タカラトミー 企業倫理・コンプライアンス アドバイザー（2024年5月～現在）
（その他業績として記載を希望する事項） ✓2024年9月21日、読売新聞朝刊6面 関西経済『INTERVIEW 広論』杉山記者のインタビュー記事「開かれた職場 不正防ぐ」掲載。 ✓2024年6月29・30日、実行委員長として日本経営倫理学会 第32回研究発表大会を関西大学高槻ミューズキャンパスで開催。 ✓2024年11月22日、部会長として日本経営倫理学会 クライシスマネジメント研究部会 研究会を関西大学東京センターで開催。 ✓2024年5月31日、経営倫理実践研究センター（BERC）アドバイザーコラム「関西大学でのBERC 寄附講座に関して」寄稿。 ✓2024年12月2日、経営倫理実践研究センター（BERC）アドバイザーコラム「検査不正事件の原因と対策」寄稿。

■ 高 橋 智 幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称,「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁,査読有の場合はその旨
(学術論文) Tsunami Data Assimilation Using High-Frequency Radar-Derived Surface Currents by Considering Beam Angle- Dependent Measurement Error Distribution	共著	2024年10月2日	Wiley	Earth and Space Science, Volume 11, Issue 10, Muhammad Irham Sahana, Ryotaro Fuji, Tomoyuki Takahashi and Hirofumi Hinata, 査読有, https://doi.org/10.1029/2024EA003561
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演) 関西大学のGXへの取組み	単独	2024年2月22日	関西大学カーボンニ ュートラル研究セン ター	大学GXのリアル～GXコンサルタント養 成講座, 大阪府吹田市
大阪・関西万博に向けた関西大学の取組み	単独	2024年9月11日	関西大学経済・政治 研究所	第223回公開講座「大阪・関西万博の意 義」, 大阪府吹田市
以下,フリー記入				
(所属学会) 日本土木学会 日本自然災害学会 日本地球惑星科学連合 American Geophysical Union				
(社会貢献活動) 土木学会 原子力土木委員会 委員 土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長 土木学会 海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン小委員会 委員 The IUGG Joint Tsunami Commission Member Journal of Disaster Research Editorial Board Member 文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員 国土交通省 東北地方整備局 リバーカウンセラー 原子力規制委員会 原子炉安全専門審査会及び核燃料安全専門審査会 臨時委員 原子力規制委員会 核燃料安全専門審査会及び核燃料安全専門審査会 臨時委員 大阪府 石油コンビナート等防災本部 専門員 徳島県 南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会 委員 沖縄県 高潮浸水シミュレーションモデルの構築等に係るアドバイザー 高槻市 都市計画審議会 委員 国立大学法人愛媛大学 客員教授 特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 副理事長 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪 副理事長 彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会 特別委員 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 関西文化学術研究都市建設推進協議会 委員 大学支援フォーラムPEAKS 全体会合 構成員 毎日育英会 理事				

■ 土 田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Consideration on the Intergenerational Ethics on Uranium Waste Disposal.	共著	2024年3月	Springer	Current Environmental Health Reports, 11, 318-328. (査読有) (Yasuda, H., Fumoto, H., Saito, T., Sugawara, S., & Tsuchida, S.) [DOI: https://doi.org/10.1007/s40572-024-00442-x]
Group Evacuation Experiment of Visually Impaired Students.	共著	2024年8月	社会安全研究センタ ー	Journal of Societal Safety Sciences, 15, open online (査読有) (Wongsuriyanan, C. & Tsuchida, S.)
(その他、論考・研究資料等) 2024年初頭の2つの災害についての研究 メモ	単著	2024年1月	社会安全研究センタ ー	災害・事故調査 https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/center/disaster/notohantohanedair/pdf/tsuchida_report.pdf
鎮魂を願うことから始まった令和6年	単著	2024年3月	社会安全研究センタ ー	社会安全学研究, 第14巻, 学部の展望, iii-iv.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 福島第一原子力発電所の廃炉作業への態度 構造に関する研究——リスク認知及び信頼 の規定因と感情的イメージ——	共同	2024年3月19日	東日本大震災・原子 力災害学術研究集会 実行委員会	東日本大震災・原子力災害 第2回 学 術研究集会 (コラッセふくしま) (浦山 郁・土田昭司)
COVID-19 流行で市民のリスク認知は変わ ったか？	共同	2024年11月16日	日本リスク学会	第37回日本リスク学会年次大会 (静岡県 立大学) (村山留美子, 藤長愛一郎, 岸川 洋紀, 土田昭司, 内山巖雄)
リスクの不確実性 (uncertainty) と多義性 (ambiguity) に対する市民の捉え方に関す る整理	共同	2024年11月16日	日本リスク学会	第37回日本リスク学会年次大会 (静岡県 立大学) (浦山郁, 土田昭司)
リスクコミュニケーション評価の視点と枠 組みについて考える	共同	2024年11月17日	日本リスク学会	第37回日本リスク学会年次大会 企画セ ッション (静岡県立大学) (土田昭司, 竹 田宜人, 桑垣玲子, 堀越秀彦, 藤井中, 浦山 郁, 静間健人, 中山敬太)
Panic Behaviors in Natural Disaster: A psychological experiment with VR system in northern Thailand.	共同	2024年12月9日 (CST)	The Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Annual meeting 2024 [Austin, USA] (S. Tsuchida, K. Kono, T. Sararit, S. Nomoto, C. Wongsuriyanan, K. Urayama, T. Shizuma)
(招待講演) リスクコミュニケーション実践研修	単独	2024年1月26日	公益財団法人 若狭 湾エネルギー研究セ ンター	経済産業省「令和5年度原子力産業基盤 強化研修」(若狭湾エネルギー研究センタ ー [福井県敦賀市])
高レベル放射性廃棄物の処分における社会 受容性	単独	2024年6月27日	日本保健物理学会	日本保健物理学会令和6年度企画シンボ ジウム (online)
緊急事態における安全を心理学から考える	単独	2024年8月2日	関西大学	2024年度教職員対象研修講座 (関西大学 [大阪府吹田市])
How should we think about responsibility to the future generations ?	単独	2024年10月26日	Osaka University	Social Sciences and Humanities in the management of the recovery process after the Fukushima accident (大阪大 学 [大阪府吹田市])
リスクコミュニケーション：理解と信頼の 構築	単独	2024年11月24日	一般社団法人 日本 原子力文化財団	「地層処分事業の理解に向けた自主企画 支援事業」(online)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 東北電力ネットワーク株式会社「受託研究」	代表	2024年度	1,353 (1,353)	EMF コミュニケーションの動向調査研 究

研 究 業 績

環境省「令和6年度放射線健康管理・健康不安対策事業」	代表	2023年度-2025年度	6,130 (23,126)	効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価手法の開発・検証及び社会実装に向けた提案
以下、フリー記入				
(所属学会)				
国際リスク解析学会（フェロー）[The Society for Risk Analysis (Fellow)]				
アジアリスク解析学会（後会長）[The Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis (Past-President)]				
日本リスク学会（表彰委員）				
日本原子力学会（社会・環境部会長，フェロー，研究専門委員会主査）				
日本保健物理学会（専門研究会委員）				
日本災害情報学会				
日本行動計量学会				
日本心理学会				
日本社会心理学会				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本応用心理学会				
日本消費者行動研究学会（「消費者行動研究」運営委員）				
(社会貢献活動)				
国際放射線防護委員会，「TG114」委員 [International Commission on Radiological Protection (ICRP) Task Group (TG) 114 (Member)]				
（一般社団）日本原子力学会，「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会主査				
（一般社団）日本保健物理学会，「放射性物質の処分における規制免除に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会」委員				
（一般社団）日本リスク学会，「リスクコミュニケーション事例研究」タスクグループ・メンバー				
（財）大阪科学技術センター，「電磁界（EMF）に関する調査研究委員会」委員長				
（公益財）JR西日本あんしん社会財団，「事業審査評価委員会」委員				
（国立研究開発）情報通信研究機構，「電波ばく露レベルモニタリングに関するリスクコミュニケーション委員会」委員				
（財）電気安全環境研究所，経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員				
（財）電気安全環境研究所，「情報提供委員会」委員				
（財）電気安全環境研究所，「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー				
(その他業績として記載を希望する事項)				
IAEA (International Atomic Energy Agency) [TN-RAS0091-2402730] Regional Training Course on Environmental Radiation (大熊町連携大学等研究・支援センター [福島県大熊町]) (2024年9月26日)においてファシリテーターを務めた。				

■ 永 田 尚 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有場合はその旨
(著書) 名著で学ぶ政治学	共著	2024年9月	一藝社	加藤秀治郎、永山博之、石上泰州、永田尚三他著。私は、「職業としての政治」(p40-41)、「パワーエリート」(p74-75)を担当した。
公共政策学事典	共著	2024年11月	丸善出版	日本公共政策学会著。私は第6章：危機と政策 4：消防・防災政策、日本の消防・防災関連組織、地域の消防・防災を担当した。
(学術論文) 消防行政と都市自治体～能登地震の教訓を踏まえ「受援前応急体制」の強化をどう行うべきか	単著	2024年4月	日本経営倫理学会	都市とガバナンス（第41号）、日本都市センター、P1-9（査読有）
南海トラフ注意情報と過剰反応——脅し行政としての防災行政の功罪——	単著	2024年11月	政策研究フォーラム	改革者65(11)、政策研究フォーラム、P48-51
自然災害が多発している現代における行政の在り方	単著	2024年11月	日本消防設備安全センター	月刊フェスク12月号、日本消防設備安全センター、P2-7
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 能登地震からわが国消防行政について考える	単独	2024年2月17日	日本公共政策学会	日本公共政策学会関西支部第78回例会、関西大学高槻ミューズキャンパス
内務省警保局の消防行政	単独	2024年2月29日	内務行政史研究会	内務行政史研究会、オンライン開催
我が国の地域消防体制の課題	単独	2024年7月8日	国立国会図書館 調査及び立法考査局	国立国会図書館 調査及び立法考査局、オンライン開催
地方が取り組む「防災DX」について	単独	2024年7月19日	秋田県町村議会議長会	秋田県町村議会議長会、秋田県市町村会館
(招聘講演) 防災DXの現状と課題	単独	2024年1月26日	上田市議会DX推進議員連盟	上田市議会DX推進議員連盟、オンライン開催
「南海トラフ地震はいつ起こる？知っておきたい被害想定と対策」	単独	2024年10月5日	政策研究フォーラム	政策研究フォーラム岡山県「研修会」、岡山市勤労者福祉センター
消防団の現状と課題	単独	2024年10月8日	総務省消防大学校	消防大学校消防団団長科第86期4,5時限目講義、消防大学校
わが国市町村消防の現状と課題、今後の展望	単独	2024年10月25日	(一財)日本防火・危機管理促進協会	(一財)日本防火・危機管理促進協会 地方自治体の危機管理に関する研究会、ドーンセンター5階特別会議室
「南海トラフ地震はいつ起こる？知っておきたい被害想定と対策」	単独	2024年11月30日	政策研究フォーラム	政策研究フォーラム三重県「研修会」、岡山市勤労者福祉センター、サンワーク津
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	研究代表者	2024～2028年	3,770 (17,160)	災害時新業務の常態化における行政の危機対応体制の研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会（監事）、日本オンブズマン学会（理事、企画委員長）、日本行政学会				
(社会貢献活動) 奈良県広域消防組合、企画調整会議 外部委員、2023年～ 高槻市水道事業審議会委員、2021～ 高槻市 産業振興審議会委員、2022～ 株式会社 WAVE 1 顧問、2023～				

研 究 業 績

(その他業績として記載を希望する事項)

第213回国会衆議院総務委員会，地方自治法の一部を改正する法律案に関して参考人招致，2024年5月21日

単著『日本の消防行政の研究：組織間関係と補完体制』（一藝社，2023年）が日本公共政策学会学会賞（著作賞）を受賞，2024年6月1日

■ 永 松 伸 吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 大規模災害の被害想定と対策	分担	2024年10月	丸善出版	日本公共政策学会編『公共政策学事典』
(学術論文) Why Are Community-Based Early Warning Systems Inadequate? A Case Study of the Licungo River Basin, in Mozambique	共著	2024年9月	IDRiM Society	IDRiM Journal, 14 (2) (B. Domingos と 共著) 査読有
Understanding the Compound Risk Context of Goma City Through the Pressure and Release Model	共著	2024年8月	Fuji Techonogy Press	Journal of Disaster Research, 19(4), pp. 656-665. (C.Tshiswaka-Tshilumba と共著) 査読有
Disaster Resilience Scale for individuals: A fundamental requirement for a disaster-resilient society	共著	2024年6月	Elsevier	International Journal of Disaster Risk Reduction, 107(1), 104405. (A. Matsukawa 他と共著) 査読有
A systematic literature review of empirical validation of disaster resilience indicators	共著	2024年9月	Elsevier	International Journal of Disaster Risk Reduction, 111, 104681. (Y. Shiozaki 他と 共著) 査読有
避難情報に求められる「正確性」と「説得 性」	共著	2024年7月	日本災害情報学会	災害情報, 22, 127-137. (庄司秀明と共 著) 査読有
(その他、論考・研究資料等) 災害リスクに対するプロテクションギャッ プをどう縮小するか	単著	2024年11月	リスクマネジメント 協会	リスクマネジメント TODAY, 147, pp.10-13.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 避難情報の人的被害軽減効果の実証分析 ——令和2年7月豪雨を事例として——	共同	2024年3月16日	日本災害情報学会	2024年春大会、於東京大学（成行香菜子 との共著）
イラストによる防災のキーメッセージの表 現	共同	2024年3月16日	日本災害情報学会	2024年春大会、於東京大学（遠藤凜香と の共著）
避難情報に求められる「正確性」と「説得 性」	共著	2024年3月	日本災害情報学会	2024年春大会、於東京大学（庄司秀明と の共著）
災害レジリエンス概念の発展と公共政策へ の含意	単独	2024年6月2日	日本公共政策学会	2024年大会、於龍谷大学
What prevents people from early evacuation? In case of Licungo River basin, Mozambique.	共同	2024年8月31日	IDRiM	IDRiM Conference, Cartagena, Columbia
早期警報システムはなぜ機能しないか：モ ザンビーク国リクンゴ川流域のケーススタ ディ	共同	2024年11月9日	日本災害情報学会	2024年秋大会、朱鷺メッセ、新潟
(招待講演) Disaster Resilience and Insurance: a review 「応急対応DX」からガバナンスにアプロー チする	単独 単独	2024年12月12日 2024年3月4日	関西大学政策創造学 部 巨大災害対応研究会	「大規模自然災害におけるプロテクショ ン・ギャップ」於関西大学梅田キャンパス 巨大災害研究会・レジリエンス研究教育 推進コンソーシアム合同シンポジウム 「レジリエントなDX社会をつくる——災 害・防災の最前線——」於TKP 新大阪ビ ジネスセンター ホール3A（オンライ ンとのハイブリッド）
Cash for Work (CFW): The lessons learned from the experiences in Japan	単独	2024年6月18日	The World Bank	Innovative approaches to building Adaptive Social Protection Systems for Disaster Risk Reduction in Understandin Risk Global Forum, Himeji, Japan.
Government Responses to the 2024 Noto Peninsula Earthquake: Lessons in Resilience	単独	2024年10月22日	IRDR	Integrated Research on Disaster Risk 2024 International Conference, Beijing, China (Online hybrid)

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科研費基盤 A	研究分担者	2023年 4 月～ 2027年 3 月	3450	「復興の総合知」を用いた災害復興社会のシミュレーションと最適戦略策定手法の提案（研究代表者：越山健治）
科研費基盤 A	研究分担者	2024年 4 月～ 2028年 3 月	1000（2200）	膨大な災害連鎖現象を発災後に予測し対応策を提示するデータ駆動型災害対応技術の開発（研究代表者：廣井悠）
突発災害科研費	研究分担者	2024年 1 月～ 2025年 3 月	270	2023年 5 月 5 日の地震を含む能登半島北東部陸海域で継続する地震と災害の総合調査（研究代表者：平松良浩）
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会，日本経済学会，日本計画行政学会，地域安全学会，日本自然災害学会，日本リスク研究学会，日本災害復興学会，日本災害情報学会，日本保険学会，Integrated Disaster Risk Managemnt (IDRiM) Society				
(社会貢献活動) 文部科学省科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 防災科学技術委員会 委員 福島国際研究教育機構 委託研究契約審査委員会 委員 兵庫県「能登半島地震を踏まえたひょうご災害対策検討会」委員 プロジェクトリーダー（防災分野），「中小企業イノベーション創出推進事業（文部科学省分）」 Journal of Disaster Reaserch (JDR) 編集委員 Editor, IDRiM Journal 日本災害情報学会，企画委員会副委員長，学会大会委員会委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門 研究部門長（クロスアポイントによる兼任） 査読（International Journal of Disaster Risk Redution, Natural Haards Review,Sustainability） 関西大学剣道クラブ有鄰会・顧問				

■ 中 村 隆 宏

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招聘講演) 基調講演 「安全をどのように創る？ / どのように壊す？」 「なぜルールは守られないのか？」	単独 単独	2024年8月15日 ～9月30日オン デマンド配信 2024年9月30日	電気安全全国連絡委 員会 経営倫理実践研究セ ンター	第59回電気関係事業安全セミナー 関西研究会 第3回 エア・ウォーター 健都
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基 盤開発推進研究事業 科研費 基盤研究C	分担 分担	2024年4月～ 2026年3月 2024年4月～ 2026年3月	 150 (1,560)	各地域救急医療体制におけるドクターヘ リの適正運用と安全運航に関する研究 多様な労働者が働きやすい職場環境づく りに関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 正会員 日本応用心理学会 正会員 日本人間工学会 正会員 日本交通心理学会 正会員 産業組織心理学会 正会員 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 土木学会 正会員 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員 日本航空医療学会 正会員 日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員 安全工学会 学術委員会委員 正会員				
(その他業績として記載を希望する事項) 東京電力パワーグリッド株式会社 リスクアセスメントにおける課題・問題点への改善指導, 他 2024年4月～2025年3月 一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師2024年6月1日～11月30日 大阪府交通安全協会 安全運転管理者講習 講師 2024年4月～2025年3月 センコーグループホールディングス株式会社 プロドライバーへの安全教育カリキュラム策定に関するコンサルティング 2024年4月～ 2025年3月 株式会社シーテック 安全管理についての指導・支援 2024年4月～2025年3月 関西エアポート株式会社 2023年度SMS(安全管理システム)研修「ヒューマンエラー・事故防止・安全管理」講師 2024年3月4日@ 関西国際空港, 3月7日@大阪国際空港, 3月14日@神戸空港 一般社団法人茨城県経営者協会 第12期 ヒューマンエラー防止セミナー 講師 2024年3月12日 水戸プラザホテル 京丹波PT ヒューマンエラー・セミナー 講師 2024年3月18日 京丹波町情報センター キンキ安全協力会安全大会 講演「“そんな間違い, するわけない!”と, ほとんどの人が信じている件について」 2024年6月13日 Asue アリーナ大阪 一般社団法人全国登録救習機関協会 高所作業車危険再認識教育講師養成研修 講師 (株)アイチコーポレーション アイチ研修センタ ー上尾教習所 2024年8月20日～21日 電気安全全国連絡委員会 第59回電気関係事業安全セミナー パネルディスカッション「安全を実現する『人の力』とは？」ファシリテ ーター 2024年8月15日～9月30日オンデマンド配信 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター 第3回川崎重工業株式会社ライン長研修 講師 2024年8月28日 安全工学会 第24回安全管理の最新動向講習会 ワークショップ:安全管理の管理者視点と現場視点 2024年9月13日 関西大学高槻ミ ューズキャンパス 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター 第12回安全衛生専門講座 安全心理コース ヒューマンエラー災害防止対策 講師 2024年10月28日～10月30日				

研 究 業 績

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称,「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁,査読有の場合はその旨
(著書) 地震・津波研究における事業継続マネジメントと事業承継	単著	2024年 3 月	関西大学出版会	「ファミリービジネスの事業承継と経営戦略——関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略——」,第10章, pp.215-225.
(学術論文) 南海トラフ地震臨時情報の認知度と防災対応に関する意識調査	共著	2024年 3 月	関西大学社会安全研究センター	社会安全学研究, vol.17, p.63-75, 大谷竜と共著(査読有).
北海道における北海道・三陸沖後発地震注意情報の認識状況とその地域差	共著	2024年 3 月	関西大学社会安全研究センター	社会安全学研究, vol.17, p.107-116, 高橋浩晃・元吉忠寛と共著(査読有).
地震被害の集中域が地震によって反転する事例 静岡県中部における1944年東南海地震と2009年駿河湾の地震の場合	単著	2024年 3 月	関西大学社会安全研究センター	社会安全学研究, vol.17, p.119-124.(査読無).
(その他,論考・研究資料等) 東海道新幹線の徐行対応への評価	単著	2024年10月	日本災害情報学会	日本災害情報学会ニュースレター, No.99, p.4.
書評:地震被害のマルチスケール要因分析(大邑潤三著,小さ子社)	単著	2024年12月	地震予知総合研究振興会	地震ジャーナル, vol.78, p.97.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 不確実性の高い地震情報の認識状況と課題:南海トラフ地震臨時情報と北海道・三陸沖後発地震注意情報の現状	単独	2024年 5 月27日	日本地球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合大会, 幕張メッセ
アンケート調査にもとづく地震リスクの相対的地位とその防災行動への影響の考察	共同	2024年10月21日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, 朱鷺メッセ
「地震準備強化」からみた2024年 8 月の南海トラフ地震臨時情報の効果—— 1 年前のアンケート調査結果との比較——	共同	2024年10月21日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, 朱鷺メッセ
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費・基盤研究(B)	分担	2023-2026	500 (1,600)	IdealQuakeを核とした新たな設計用地震動構成法の開発
地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究	代表	2024	760 (760)	北海道・三陸沖後発地震注意情報の普及・定着に関する総合的調査
以下,フリー記入				
(所属学会) 日本地震学会 歴史地震研究会 Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会				
(社会貢献活動) 静岡大学防災総合センター客員教授(2016-) 公益社団法人日本地震学会, 代議員(2006-)				

■ 廣 川 空 美

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Maternal Autistic Traits and Adverse Birth Outcomes.	共著	2024年1月	JAMA	JAMA Network Open Hosozawa M, Cable N, Ikehara S, Aochi Y, Tanigawa K, Baba S, Hirokawa K, Kimura T, Sobue T, Iso H; Japan Environment and Children's Study Group. 論文の構成、研究計画、査読有
Association between work environment changes due to the COVID-19 pandemic and post-traumatic stress disorder in Japanese workers during the emergency declaration.	共著	2024年6月	WILEY	Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports, 3: e206. Noda T, Hirokawa K, Tokunaga K. 研究計画、データの解析、論文の構成、査読有
Associations between dietary intake and depressive symptoms modified by a feminine personality trait in Japanese female students	共著	2024年9月	日本予防医学会	Preventive Medicine Research Hirokawa, K., Takahata, Y., Uesugi, S. 研究計画、調査の実施、データの解析、論文の執筆、査読有
コロナ禍における精神科医療機関の職場のメンタルヘルス対策に関するサービスの実態調査	共著	2024年9月	労働安全衛生総合研究所	労働安全衛生研究 廣川空美、藤吉奈央子、吉田知克、大平哲也 研究計画、調査の実施、データの解析、論文の執筆、査読有
大阪府下の学校教職員における「子ども食堂」などの子ども支援サービスのニーズに関する実態調査	共著	2024年12月	厚生労働統計協会	厚生指標 廣川空美、菊池美奈子、大井美紀、馬場幸子、植田紀美子、元吉忠寛、近藤誠司 研究計画、調査の実施、データの解析、論文の執筆、査読有
(その他、論考・研究資料等) 「子ども食堂ってどんなところ？」	単著	2024年12月	大阪教育委員会	「親力アップサイト」 https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000121316.html
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 高槻市富田町における子ども食堂の食育活動の事例の検討	共同	2024年8月24日	日本社会医学会	第65回総会於久留米大学医学部
男性労働者における更年期症状とコロナ禍による孤立感との関連	共同	2024年9月7日	日本心理学会	第88回大会於熊本城ホール
瞬目研究の多様性と包括性	共同	2024年9月8日	日本心理学会	第88回大会於熊本城ホール
(招待講演) 「男性労働者におけるテストステロン、仕事のストレスと更年期症状の関連」於シンポジウム「悩める中高年のホルモン力・男性力・勃起力」	共同	2024年9月21日	日本メンズヘルス医学会	第24回大会於旭川大雪クリスタルホール
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費(基盤(C))	代表者	2024年4月-2027年3月	4290	多様な労働者が働きやすい職場環境づくりに関する研究
科学研究費(基盤(C))	分担者	2024年4月-2027年3月	4680	学校におけるトラウマインフォームドケア概念に基づく支援の展開
関西大学なわ大阪研究センター公募研究班	代表者	2024年4月-2026年3月	1000	大阪府下における「子ども支援」サービスの調査とガイド作成
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会会員				

研 究 業 績

日本産業衛生学会会員

日本健康心理学会（2014年4月～2017年6月まで 健康心理学研究編集員）

日本公衆衛生学会会員（モニタリング・レポート産業保健グループ）

日本ストレスマネジメント学会（2020年4月～2023年3月まで理事，編集委員）

日本疫学会員（2017年6月～2020年2月まで 2023年6月～現在まで 代議員 2017年～2022年まで広報委員）

日本行動医学会（2023年4月から現在まで 評議員）

関西心理学会（2023年4月から現在まで 常任委員）

■ 細 川 茂 雄

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
Development of Measurement Method for Gas-Liquid Two-Phase Flow Inside a Fuel Bundle to Obtain Code Validation Data	共同	2024年 6 月		Specialists Workshop on Advanced Instrumentation and Measurement Techniques for Nuclear Reactor Thermal-Hydraulics and Severe Accidents (SWINTH-2024)
Spatiotemporal Filter Velocimetry with Arbitrary-Shaped Measurement Region for Accurate Measurement in the Vicinity of a Boundary	単独	2024年 7 月		21st International Symposium on Applications of Laser and Imaging Techniques to Fluid Mechanics (Lisbon2024)
Flow characteristics of turbulent bubbly flow in 2×2 rod bundle	共同	2024年 8 月	ASME, JSME, CNS	The 32nd International Conference on Nuclear Engineering (ICONE31)
Fully — Contaminated State of Single Bubbles in Surfactant —				
Laden Water at Concentration Beyond CMC	共同	2024年11月	Pacific Center of Thermal-Fluids Engineering	The 34th International Symposium on Transport Phenomena (ISTP-34)
静止水中に落下した熔融金属の凝固形状	共同	2024年 9 月	日本混相流学会	混相流シンポジウム2024
先進的核熱連成シミュレーションシステムの開発 — LDV を用いた燃料バンドル内気液二相流測定技術の不確かさ検討 —	共同	2024年 9 月	日本原子力学会	日本原子力学会秋の大会
PIV によるロッドバンドル内の流速分布測定と支持格子ミキシングペーンの形状効果の評価	共同	2024年 9 月	日本原子力学会	日本原子力学会秋の大会
アスペクト比の大きい矩形ノズルから噴出する液膜流に関する研究	共同	2024年11月	日本機械学会	日本機械学会流体工学部門講演会
(招聘講演)				
Spatiotemporal Filter Velocimetry and Its Application to Interfacial Phenomena	単独	2024年 7 月		21st International Symposium on Applications of Laser and Imaging Techniques to Fluid Mechanics (Lisbon2024)
時空間フィルタ流速計の現状と今後の展望	単独	2024年 7 月	可視化情報学会	可視化シンポジウム2024
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省「原子力システム研究開発事業」	研究分担者	2024～2027年	900千円 (3,600千円)	革新炉の設計最適化に資する詳細二相流解析コード妥当性確認のための技術開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本機械学会、代表会員、関西支部商議員				
日本原子力学会				
日本混相流学会、会長、理事				
日本伝熱学会				
日本航空宇宙学会				
日本流体力学会				
自動車技術会				
可視化情報学会				
(社会貢献活動)				
Experimental Thermal and Fluid Science (Elsevier), Editor				
21st International Symposium on Application of Laser and Imaging Techniques to Fluid Mechanics, Advisory Committee Member				
International Conference on Multiphase Flow (ICMF 2025), Scientific Committee				
一般社団法人 原子力安全推進協会 原子力防災訓練検討委員会 A 会議 アドバイザリーボード委員				

■ 元 吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) COVID-19の5類感染症移行後の人々の心理と行動の特徴 北海道における北海道・三陸沖後発地震注意情報の認識状況とその地域差 大阪府下の学校教職員における「子ども食堂」などの子ども支援サービスのニーズに関する実態調査	単著 共著 共著	2024年3月 2024年3月 2024年12月	関西大学社会安全学部 関西大学社会安全学部 厚生労働統計協会	社会安全学研究, 14, 97-106.(査読有) 社会安全学研究, 14, 107-116.林能成・高橋浩晃・元吉忠寛(査読有) 厚生指標, 71, 23-30.廣川空美・菊池美奈子・大井美紀・馬場幸子・植田紀美子・元吉忠寛・近藤誠司(査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 東日本大震災による原子力災害の避難者の精神的健康 新潟県への避難者を対象として 非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響(1)自律神経活動による検討 非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響(2)能登半島地震による大津波警報発令時の避難指示アナウンスの効果 非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響(3)能登半島地震のNHK 避難アナウンスの評価	共同 共同 共同 共同	2024年9月1日 2024年9月6日 2024年9月6日 2024年9月6日	日本社会心理学会 日本心理学会 日本心理学会 日本心理学会	日本社会心理学会第65回大会, 日本大学文理学部・オンライン 日本心理学会第88回大会, 熊本城ホール 日本心理学会第88回大会, 熊本城ホール 日本心理学会第88回大会, 熊本城ホール
(招待講演) 原発事故による精神影響の長期化について被災する前に知っておきたい災害心理学 災害時の人々の心理とこころの防災 こころの防災ってなんだろう	単独 単独 単独 単独	2024年9月6日 2024年7月25日 2024年9月26日 2024年12月6日	日本心理学会 GEIL 日蓮宗近畿教区 京都アスニー	日本心理学会第88回大会, 熊本城ホール GEIL 勉強会, オンライン 第54回近畿教区教化研究会議, ホテルニューオウミ アスニー特別講演会, 京都アスニー
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)	分担 分担	2022～2025年度 2024～2026年度	600 (17,160) 250 (4,680)	情報伝達の多側面に着目した実効性の高い非常時メッセージの原理解明と開発 多様な労働者が働きやすい職場環境づくりに関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会, 災害研究支援委員会委員 日本教育心理学会 日本グループ・ダイナミックス学会 日本社会心理学会 日本リスク学会 編集委員 日本トラウマティックストレス学会 Society for Risk Analysis American Psychological Association				

■ 山 崎 栄 一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 防災と福祉ガイドブック	分担執筆	2024年11月	朝倉書店	地域安全学会編、本人担当箇所 4 三倉・恤救規則・備荒儲蓄法・罹災救助基金法(8～9頁) 26 災害対策基本法(防災対策+福祉の対応+21年度改正)(54～55頁), 33 憲法・障害者権利条約・障害者基本法・障害者差別解消法(66～67頁) 38 福祉関係法(78～79頁), 63 個別避難計画と個人情報の活用(124～125頁)
(学術論文) 大阪地裁判決(令和4年1月20日)雑感 ——マンションからのGH排除に向けた『拒絶モード』——	単著	2024年4月	日本マンション学会	マンション学77号(特集:名古屋大会報告集)83～84頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 避難行動要支援者への個別避難計画の作成と課題	単独	2024年2月17日	神戸大学都市安全研究センター	第293回 神戸大学 RCUSS オープンゼミナール 神戸市役所4号館(危機管理センター)1階会議室(兵庫県)
日本における災害時要配慮者対策	単独	2024年3月15日	韓国研究財団	災害被災者支援と地域回復、情報管理に関する韓日共同セミナー 仁川大学15号館人文大学3階国際会議室(韓国)
国民保護と福祉的配慮	単独	2024年3月23日	福祉権理論研究会	関西大学高槻ミュージャンパス(大阪府)
大阪地裁判決(令和4年1月20日)雑感 ——マンションからのGH排除に向けた『拒絶モード』——	単独	2024年4月20日	日本マンション学会	日本マンション学会2024名古屋大会 桐山女学院大学(愛知県)
個別避難計画と個人情報	単独	2024年6月22日	地域安全学会	地域安全学会実務者企画委員会・オンライン勉強会「防災分野における個人情報保護と活用」オンライン
被災者支援法制の構造転換(ガバメントからガバナンスへ)の試み	コーディネーター	2024年10月19日	防災推進国民大会実行委員会	ぼうさいこくたい2024 熊本城ホール(熊本県)
能登半島地震の初動・応急対応、復旧段階における法制度上の課題	コーディネーター	2024年11月10日	日本災害復興学会	2024年度長岡大会 アオーレ長岡(新潟県)
国民保護と福祉的配慮——武力攻撃災害における避難体制の構築を中心に	単独	2024年11月30日	福祉権理論研究会	関西大学高槻ミュージャンパス(大阪府)
NZ調査(2024年3月)におけるインタビューのブリーフィング	単独	2024年12月21日	山地科研研究会	ニュージーランド調査研究会[山地科研20K20781] JR六甲道駅・灘区文化センター(兵庫県)
(招待講演) 行政の災害対策と危機管理	単独	2024年1月13日	防災士研修センター	防災士研修講座 エプノ泉の森ホール レセプションホール(大阪府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年1月20日	防災士研修センター	防災士研修講座 オルガホール(岡山県)
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年4月20日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年4月26日	防災士研修センター	防災士研修講座 大阪私学会館(大阪府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年5月18日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪府)
災害関連法体系基礎	単独	2024年6月7日	人と防災未来センター	災害対策専門研修(自治体職員向け)国際健康開発(IHD)センタービル(兵庫県)
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年6月15日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪府)

研 究 業 績

行政の災害対策と危機管理	単独	2024年7月21日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール（大阪府）
被災者支援と法	単独	2023年8月1日	関西大学	教職員対象研修講座 千里山キャンパス（大阪府）
被災者支援・災害時要援護者対策	単独	2024年8月4日	兵庫県	令和6年度 淡路地域ひょうご防災リーダー講座 兵庫県洲本総合庁舎（兵庫県）
被災者支援の法制度と課題	単独	2024年8月17日	近畿弁護士会	第16回災害対策連続講座 大阪弁護士会館（大阪府）
災害と法	単独	2024年8月21日	大阪府立大学工業高等専門学校	大阪府立大学工業高等専門学校（大阪府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年9月7日	防災士研修センター	防災士研修講座 大阪私学会館（大阪府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年9月20日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール（大阪府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年10月6日	防災士研修センター	防災士研修講座 百花プラザ（西大寺緑花公園内）（岡山県）
被災者支援・災害時要援護者対策	単独	2024年10月26日	兵庫県	令和6年度ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター
被災者支援・災害時要援護者対策	単独	2024年10月26日	芦屋市	芦屋市防災士養成講座 芦屋市役所（兵庫県）
自然災害と被災者支援	単独	2024年11月16日	兵庫県	ひょうご消防のつどい2024 やしろ国際学習塾（兵庫県）
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年11月23日	防災士研修センター	防災士研修講座 総社市総合福祉センター（岡山県）
予防行政と行政法	単独	2024年11月29日	岐阜県	岐阜県消防学校 オンライン開催
個別避難計画と個人情報	単独	2024年12月2日	京都府	京都府個別避難計画全体研修会 京都経済センター会議室（京都府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年12月12日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール（大阪府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2024年12月15日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール（大阪府）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	代表	2024～2027年	700 (16,000)	被災者支援法制の構造転換（ガバメントからガバナンスへ）の試み
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2024～2028年	200 (13,200)	災害時新業務の常態化における行政の危機対応体制の研究
文部科学省科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽)	分担	2020～2021年 (2024年まで延長)	67 (4,800)	首都直下地震等大規模災害のセーフティネットとしての準公営住宅の国際比較研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公法学会 日本社会保障法学会 日本公共政策学会 日本災害復興学会（総務委員会副委員長） 日本災害情報学会 地域安全学会 日本火災学会 日本グループホーム学会 地区防災計画学会（幹事）				
(社会貢献活動)				
総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員 関西広域連合 関西広域防災計画策定委員会 委員 徳島県「個別避難計画」作成促進事業アドバイザー 熊本県避難支援体制づくりアドバイザー				
(その他業績として記載を希望する事項)				
大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 客員教授 博士論文の副査を担当（1件）（兵庫県立大減災復興研究科） 地域安全学会の査読を担当（1件） 社会安全学の査読を担当（2件） 2月28日 NHK ラジオ出演 NHK ラジオ第一 ニュース番組「Nらじ」 2月28日（水）「被災住宅の支援 課題は」 4月8日 ラジオ大阪出演 「あんぜん・あんしん・あんさんぶる」 能登半島地震に関する最新の話 12月17日 NHK ラジオ出演 NHK ラジオ第一「シェア防災～シェアしよう！みんなの防災～」 関西大学社会安全学部教授 山崎栄一さん「個別避難計画と個人情報」				

■ 吉 田 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 列車内閉じ込めに遭遇した乗客の精神的負担とその軽減策について ——2023年1月の京都地区で発生した大雪にともなう長時間停車を例に—— 連載 第6回 セーフティプロモーションと私 観光船の安全に関する一考察	単独 単独 単独	2024年1月 2024年4月 2024年8月	日本セーフティプロモーション学会 日本セーフティプロモーション学会 日本セーフティプロモーション学会	日本セーフティプロモーション学会 第17回学術大会 プログラム・抄録集、 P24 日本セーフティプロモーション学会誌 第17巻第1号, 2024, P8-11 日本セーフティプロモーション学会 第18回学術大会 プログラム・抄録集、 P20
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 列車内閉じ込めに遭遇した乗客の精神的負担とその軽減策について ——2023年1月の京都地区で発生した大雪にともなう長時間停車を例に—— 観光船の安全に関する一考察	単独 単独	2024年1月28日 2024年8月4日	日本セーフティプロモーション学会 日本セーフティプロモーション学会	日本セーフティプロモーション学会 第17回学術大会 長岡京市生涯学習センター 日本セーフティプロモーション学会 第18回学術大会 大阪教育大学学校 安全推進センター
(招待講演) 遊覧船の事故防止について 地震発生時における鉄道の運転再開情報について ——心理的負担を軽減させる情報提供方法—— 職場における上司・部下間の人間関係を向上させるには	単独 単独 単独	2024年6月15日 2024年10月18日 2024年11月25日	関西大学 高槻市 名古屋市交通局 河内長野市長	第38回関西大学高槻ミュージズキャンパス 公開講座 2024年度安全講演会、名古屋市役所 未来のまちづくりセミナー2024、都シェイター大阪天王寺
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会 公益事業学会 鉄道史学会 産業・組織心理学会 日本セーフティプロモーション学会 失敗学会				
(社会貢献活動) 事業用自動車事故調査委員会 委員 独立行政法人自動車事故対策機構指導講習業務検討委員会 座長 トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪府地方協議会 座長				
(その他業績として記載を希望する事項) <u>報道・取材協力</u> (記事)「24年問題私の見方 根底は健康に働く 商慣習見直し ビジネスチャンス」物流ニッポン新聞, 2024年1月26日 (記事)「減災 阪神大震災30年へ 揺れ前兆 新幹線を緊急停止」読売新聞大阪本社版, 2024年3月25日 (記事)「尼崎事故19年 鉄道各社 脱線対策 災害備え強化」京都新聞, 下野新聞, 四国新聞, 北國新聞ほか, 2024年3月25日 (記事)「埼玉・吉川駅ホーム際の男性転落死 退避見込み非常停止せず」東京新聞, 埼玉新聞, 2024年5月16日 (記事)「大阪・関西万博を問う⑥ 大阪メトロ中央線にかかる来場者輸送の過大な負荷」週刊エコノミスト, 2024年7月30日, P68-69 (記事)「大阪・関西万博を問う⑦ 大阪メトロへの過大な負荷と地震時の避難計画の不安」週刊エコノミスト, 2024年9月24日/10月1日, P44-45 (記事)「異常覚知 足りぬ検査規定 レール腐食見抜けず 点検手法の確立急ぐ」北海道新聞, 2024年12月16日 (ラジオ)「あんぜん・あんしん・アンサンプル」ラジオ大阪, 2024年5月6日放送 (ラジオ)「あんぜん・あんしん・アンサンプル」ラジオ大阪, 2024年11月4日放送				

研 究 業 績

座談会における協力（ファシリテーター）

（セミナー）バスドライバー合同就職説明会「いらっしゃいフェス2024」兵庫県バス協会，2024年10月26日，神戸国際会館

■ 岡 本 満喜子

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 自動運転事故の責任は誰にあるのか ― 新 技術をめぐる過失割合の検証	単著	2024年 9 月	法律文化社	1-268頁
(その他, 論考・研究資料等) 24法工学 24.3 業務上過失事件裁判例研 究会	単著	2024年 7 月	日本機械学会	機械工学年鑑2024 https://www.jsme.or.jp/kikainenkan2024/ chap24/
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 鉄道用非常ボタンによる通報行動の抑制要 因 ― 鉄道利用者の意識調査を通じて	共同	2024年 1 月	日本セーフティプロ モーション学会	第17回学術大会 於長岡京市生涯学習セ ンター
駅ホーム及び列車内非常ボタンの認知度と 通報行動への詳細な影響要因抽出の試み	共同	2024年 6 月	日本交通心理学会	第89回大会 於福岡工業大学
(招待講演) 運転者指導における問題点と対応 ～管理者と運転車の意識の乖離とその対応 について～	単独	2024年 3 月	近畿運輸局 関西交通経済研究セ ンター	運輸安全マネジメントシンポジウム 2024 於ドーンセンター
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) JR 西日本あしん社会財団助成金	分担	2024年 4 月～ 2025年 3 月	1,500	バス置き去り事故防止のための優れたア イディアの発掘と展開による安全活動エ ンカレッジ効果の検証
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本交通心理学会 (規程委員会委員) 日本応用心理学会 日本プラントヒューマンファクター学会 日本交通科学学会 日本セーフティプロモーション学会 日本機械学会 (法工学専門会議運営委員), 業務上過失事件裁判例研究会				
(社会貢献活動) 運輸安全委員会 海事部会委員 2017年10月～現在 運輸安全委員会 海事専門部会委員 2017年10月～現在 SMI 都心ライン自動運転技術等検討分科会委員 2023年 6 月～現在 近畿陸運協会評議員 2024年 5 月～現在				

■ 河 野 和 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称,「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁,査読有の場合はその旨
(学術論文) Proposing Thematic Mapping for Integrated Risk Communication: A Study of British & Japanese Perspectives in Flood-Prone Communities	共著	2024年 1 月	ELSEVIER	International Journal of Disaster Risk Reduction, Vol. 107, online publishd (M. Pawlik, K. Kitagawa, H. Shiroshita, R. Jayaratne, S. Nomoto, Y. Okumura, K. Kono)
(その他, 論考・研究資料等) 巻頭言：関大大学の DX 推進に向けて	単著	2024年 6 月	関西大学インフォメ ーションテクノロジー センター	関西大学インフォメーションテクノロジ ーセンター年報2023, No. 14, P1-2 (査 読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Panic behaviors in natural disaster, a psychological experiment with VR system in northern Thailand	共同	2024年12月 9 日	The Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis Annual Meeting 2024, Austin, Texas (S. Tsuchida, K. Kono, T. Sararit, S. Nomoto, C. Wongsuriyanan, K. Urayama, T. Shizuma)
以下, フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)				
(社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM 研), 専門委員 (2020年 4 月 1 日～) 吹田市個人情報保護審議会委員 (2019年10月～) 奈良経済産業協会, 令和 5 年度経営者懇談会「経営者に求められるセキュリティ対策」(2024年 7 月12日)				
(その他業績として記載を希望する事項) 情報処理安全確保支援士 (登録番号: 015391) 関西大学 IT センター副所長 (2020年10月～2024年 9 月)				

■ 城 下 英 行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Operational Earthquake Forecasting in Japan: A Study of Municipal Government Planning for an Earthquake Advisory or Warning in the Nankai Region	共著	2024年1月	Seismological Society of America	James D. Goltz, Katsuya Yamori, Kazuya Nakayachi, Hideyuki Shiroshita, Takashi Sugiyama, Yu Matsubara, Seismological Research Letters, Vol.95, No.4, pp.2251-2265, https://doi.org/10.1785/0220230304 (査読有り)
Integrating communities' perspectives in understanding disaster risk	共著	2024年4月	Springer Nature	Hideyuki Shiroshita, Ravindra Jayaratne, Kaori Kitagawa, Natural Hazards, Volume 120, pp.8263-8282, https://doi.org/10.1007/s11069-024-06452-0 (査読有り)
Proposing Thematic Mapping for Integrated Risk Communication: A study of British & Japanese perspectives in flood-prone communities	共著	2024年6月	Elsevier	Maciej Pawlik, Kaori Kitagawa, Hideyuki Shiroshita, Ravindra Jayaratne, Soma Nomoto, Yoshihiro Okumura, Kazuhiro Kono, International Journal of Disaster Risk Reduction, Vol.107, https://doi.org/10.1016/j.ijdr.2024.104472 (査読有り)
南海トラフ地震臨時情報に関する自治体の 対応計画の多様性	共著	2024年7月	日本災害情報学会	松原悠・James D. GOLTZ・矢守克也・ 城下英行・杉山高志・中谷内一也、災害 情報、第22巻第1号、pp.35-44 (査読有 り)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 防災教育・減災教育・災害教育	単独	2024年12月1日	科学技術社会論学会	第23回年次研究大会、東京大学
(招待講演) 学校安全の充実に向けて	単独	2024年1月15日		令和5年度泉大津市防災学習研修会、泉 大津市教育センター
学校安全の充実に向けて	単独	2024年1月16日		令和5年度高槻市立柱本小学校研修会、 高槻市立柱本小学校
学校防災教育を問い直す	単独	2024年1月19日		令和5年度青少年赤十字指導者協議会講 演会、名古屋市公会堂
教える／教えられるからともに学ぶ防災へ	単独	2024年1月22日		令和5年度学校安全総合支援事業「防災 関連事業」に関する成果発表会、大阪私 学会館
防災教育について——防災のパフォーマ ンスのための教育の重要性——	単独	2024年4月19日		令和6年度大阪府教育センター10年経験 者研修、オンライン
防災教育を問い直す：防災の「パフォー マンス」の重要性	単独	2024年6月21日		シニア自然大学校公開講演会、大阪市立 福島区民センター
地震・水害に備えましょう	単独	2024年7月9日		ティビーおやこの広場防災講習会、高槻 市ティビーおやこの広場
遊びを通じた防災教育を考える	単独	2024年7月12日		豊中こども財団設置者・園長対象研修 会、ザ・リッツ・カールトン大阪
学校安全の充実に向けて	単独	2024年8月27日		茨木市立玉櫛小学校防災教育研修会、茨 木市立玉櫛小学校
防災教育×防災管理	単独	2024年10月7日		令和6年度泉大津市防災学習研修会、泉 大津市教育センター
防災について学ぶとは——教える／教えら れるからともに学ぶ防災へ——	単独	2024年11月12日		令和6年度滋賀県学校安全指導者講習 会、ピアザホール
社会現象としての災害にいかにも備えるか	単独	2024年12月25日		京都大学第34回市民防災講座——自然災 害に備える——、岡山コンベンションセ ンター

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (C) The Impact Builder Competition, University of East London Grants for Rapid Response Research	代表 分担 研究協力者	2023年度～2025 年度 2023年 9 月～ 2024年 7 月 2024年度	1,000千円 (3,300千 円) 0 円 0 円	「パフォーマンス」による総合的な参加型 防災教育モデルの構築 Agent-Based Modelling for Flood Evacuation as Inclusive Disaster Risk Reduction: Pilot Participatory Action Research in British and Japanese Schools (AEVac-PAR) Immediate Responses during a Major Nighttime Tsunami Event
(受託研究) 西日本旅客鉄道株式会社	代表	2024年度	1100千円	公共交通と防災教育：災害と事故の關係 に着目して
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本自然災害学会（企画委員：2018年～，学術講演会部会：2020年～） 日本安全教育学会 日本災害情報学会（学会誌編集委員会委員：2022年～） 地域安全学会 科学技術社会論学会（理事：2019年～） Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society 地区防災計画学会				
(社会貢献活動) 大阪府 安全教育推進委員会 委員長 泉大津市 防災会議 委員 印南町 防災会議 委員 大阪府立吹田東高等学校 学校協議会 委員 高槻市 学校教育審議会 委員				
(その他業績として記載を希望する事項) President, Avoidable Deaths Network 大阪教育大学 学校安全推進センター 共同研究員 特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム 理事 京都大学防災研究所 非常勤講師 和歌山県印南町印南地区津波防災ワークショップ講師（2024年 3 月18日，印南町防災福祉センター・2024年10月15日，印南町防災福祉セ ンター） 関西大学理工系 3 学部安全衛生講演会「安全管理を進めるために——防災教育分野からの提言——」（2024年 6 月19日，関西大学千里山キ ャンパス） ソーシャル・コミュニケーションリーダー（SCL）養成講座「まなびのための防災教育のデザイン」（2024年 8 月 3 日，関西大学梅田キャン パス） 関大の知にふれる「生活の中の防災」（2024年 9 月 3 日，大阪府立高槻北高等学校） 大阪市東淀川区 BCP 学びの場講師（2024年10月25日，東淀川区役所・2024年12月13日，東淀川区役所） いわて高等教育コンソーシアム2024年度後期集中講義「危機管理と復興」の「防災教育を考える」（2024年12月14日，マリオス）				

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 被災世帯を対象とする支援需要評価に関する研究——生活再建への移行期における被災者生活実態調査の実践から	共著	2024年2月	日本災害復興学会	日本災害復興学会論文集, No.23, pp.31-42, 中村満寿央・田村太郎・菅磨志保・静間健人(査読有)。
(その他、論考・研究資料等) 災害ケースマネジメント等の検討	共著	2024年5月	厚生労働省 (厚生労働行政推進調査事業費)	「災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究」(代表: 浜松医科大学・尾島俊之教授) 令和5年度総括・分担研究報告書, 本文 pp.67-81を菅が執筆, pp.82-125を菅・中村・坪井・山本が共同執筆(査読無し)。
災害ボランティアの主体形成——官民関係と制度化の狭間で	単著	2024年9月	日本災害復興学会	日本災害復興学会誌 復興 Vol.13, No.1, pp.12-15 (査読無し)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 災害時における地域自立支援体制の構築と広域行政による保健医療調整本部の連携に関する研究 ——長野県伊那市を事例として	共同	2024年3月20日	社会学系4学会連合	第10回震災問題研究交流会(社会学系4学会連合) 坪井塑太郎・菅磨志保・尾島俊之(於: 早稲田大学)
能登半島地震における集落自治の可能性と課題	共同	2024年11月9日	日本災害復興学会	日本災害復興学会2024年度長岡大会梗概集, 阿部晃成・菅磨志保・小原直将・野村俊介・三嶋昂将・入江早亮・坪井塑太郎(於: アオーレ長岡)
複合災害による建物被害と被災者支援に関する研究 ——2018年・大阪府北部地震における茨木市を事例として	共同	2024年9月14日	日本地理学会	日本地理学会2024年秋季学術大会, 坪井塑太郎・菅磨志保(於: 南山大学)
(招待講演) その時、市民は動いた ——近代日本の市民活動を拓いた人々	共同	2024年1月28日	大阪ボランティア協会・ボランティアリズム研究所	歴史に学ぶ市民活動(第3回), 室崎益輝・菅磨志保(於: 毎日文化センター)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位: 千円)	研究テーマ
(競争的資金) 厚生労働行政推進調査事業費	研究 分担者	2022年度～ 2024年度	300 (15,300: R6年度分)	災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究(代表: 浜松医科大学・尾島俊之教授)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会, 日本都市学会・関東都市学会, 地域社会学会, 日本NPO学会, 日本災害復興学会, 日本災害情報学会, 地域安全学会				
(社会貢献活動) 震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事(2004年～現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員(2012年3月～現在に至る) 特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所 理事(2015年12月～現在に至る) 奈良県「奈良県地域防災計画検討委員会」委員(2021年4月～現在に至る) 中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)』審査委員会」委員・座長(2021年9月～現在に至る) 大阪府「大阪府河川整備審議会」委員(2021年10月～現在に至る) 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム(JPF)「JPF国内事業審査分科会」委員(2021年12月～現在に至る) Yahoo! 基金 2024年度被災地復興・防災・減災 活動支援助成プログラム選考委員(2023年10月～2024年3月)				

研 究 業 績

(その他業績として記載を希望する事項)

[執筆協力] 関西大学初等部 6 年生『やってみた！ いのちを守る64の防災活動：小学生の体験レポート+専門家のアドバイス』さくら社、2024年 2 月

[パネリスト] かーちゃんサミット in 丹波（丹波市豪雨災害10周年）フォーラム 話題提供「かーちゃん×復興」（於：ライフピアいちじま）2024年 6 月15日

■ 菅 原 慎 悦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文)				
未来世代の制度化をめぐる近年の議論とその課題——未だ生まれていない存在への向き合い方——	共著	2024年12月	日本リスク学会	小林誠道と共著, リスク学研究34(3): 121-133. doi:10.11447/jjra.O-24-008 (査読有)
リスクコミュニケーションにおけるリスク比較——リスク比較の望ましきランクの「根強さ」を探る	共著	2024年11月	日本リスク学会	桑垣玲子と共著, リスク学研究34(2): 97-107. doi:10.11447/jjra.R-24-003 (査読有)
Addressing “beyond control”: nuclear safety goals in the age of risk governance.	単著	2024年 6 月	Taylor & Francis	Journal of Risk Research, 1-16. doi:10.1080/13669877.2024.2368188 (査読有)
How useful is setting safety goals ?	単著	2024年 5 月	Wiley	Risk Analysis 44(10): 2324-2332. doi:10.1111/risa.14320 (査読有)
Consideration on the Intergenerational Ethics on Uranium Waste Disposal	共著	2024年 3 月	Springer Nature	Yasuda, H, Fumoto, H, Saito, T, Tsuchida, S と共著, Current Environmental Health Reports 11:318-328. doi:10.1007/s40572-024-00442-x (査読有)
リスク・ガバナンス——分け過ぎることに抗して——	単著	2024年 1 月	日本リスク学会	リスク学研究33(3):113-124. doi:10.11447/jjra.R-23-006 (査読有)
(その他、論考・研究資料等)				
中西準子博士文化勲章受章によせて	共著	2024年12月	日本リスク学会	村上道夫, 岩崎雄一, 永井孝志, 東海明宏, 保高徹生, 松田裕之, 恒見清孝, 岡敏弘, 平井祐介, 小野恭子, 蒲生昌志, 内藤航, 大野浩一, 井上知也, 小島直也, 藤井健吉と共著, リスク学研究34(3): 135-138.
日本保健物理学会「放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会活動報告書」	分担執筆	2024年 9 月	保健物理学会	日本保健物理学会専門研究会報告書シリーズ Vol.14 No.2 第4章を担当.
状況とペナルティ	単著	2024年 1 月	日本原子力学会	日本原子力学会誌66(1), 46.
ニーチェと包絡	単著	2024年 4 月	日本原子力学会	日本原子力学会誌66(4), 210.
形容詞の不在	単著	2024年 7 月	日本原子力学会	日本原子力学会誌66(7), 372.
尼僧と陳歩楽の運命	単著	2024年10月	日本原子力学会	日本原子力学会誌66(10), 532.
安全工学シンポジウム2024オーガナイズドセッション報告:「大規模災害後のリスクガバナンス〜視点の再構築」	共著	2024年11月	日本リスク学会	村上道夫, 李泰榮, 澤野豊明, 藤井健吉, 岸本充生, 米田稔と共著, リスク学研究34(2):109-114.
志賀原子力発電所の状況を踏まえて (1)	単著	2024年 1 月	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部 災害・事故調査: 令和6年能登半島地震・羽田航空機事故 https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/center/disaster/notohantohanedaair/index.html
巻頭言: リスク学研究特集企画 MIP (Most Influential Papers)	単著	2024年 1 月	日本リスク学会	リスク学研究33(3), 109-111.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
安全目標と「社会的リスク」に係る考察	単独	2024年 3 月26日	日本原子力学会	日本原子力学会2024年春の年会, 近畿大学.
災害研究と倫理:『嫌とは言えない』状況は避けるべきか	単独	2024年 6 月27日	安全工学会	安全工学シンポジウム, 日本学術会議.
More science, less participation and automated decision: public imaginary and epistemic authorities of Japanese nuclear risk governance	共同	2024年 7 月17日	EASST-4S	Juraku, K と共著, EASST-4S, Amsterdam, Netherland.
未来世代への配慮を目指す制度化に関する近年の議論と課題	共同	2024年 9 月 8 日	科学社会学会	小林誠道と共著, 科学社会学会第13回年次大会, 大阪大学吹田キャンパス.

研 究 業 績

科学的予測による社会的意思決定の自動化への憧憬と高レベル放射性廃棄物問題	共同	2024年12月1日	科学技術社会論学会	寿楽浩太と共著，科学技術社会論学会第23回年次大会，東京大学本郷キャンパス，
(招待講演) 補完と統合の専門性：原子力安全を例にボランニー「暗黙知」について 事故の「原因」について	単独 単独 単独	2024年6月30日 2024年6月24日 2024年3月14日	科学社会学会 暗黙知研究会 TONERICO	科学社会学会研究会，オンライン， 第6回暗黙知研究会，オンライン， TONERICO研究会＋静岡大学MOT勉強会：『社会的イベント』の因果帰属を考える，オンライン，
安全目標と社会的リスク	単独	2024年2月26日	JAEA	日本原子力研究開発機構 令和5年度第4回高速炉研究開発DX化検討委員会，オンライン，
原子力の安全目標：どれくらい安全であれば十分安全といえるか？	単独	2024年2月9日	自動車技術会	自動車技術会第10回インパクトバイオメカニクス部門委員会，関西大学高槻ミューズキャンパス，
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科研費（基盤C）	分担	2024-2026年度	400（4,680）	科学社会学のポスト「第3の波」論の検討：高レベル放射性廃棄物処分問題を題材に
科研費（基盤C）	代表	2022-2025年度	600（4,030）	専門家の間で意見が分かれるリスク問題の専門知集約過程に係る科学技術社会学的分析
以下，フリー記入				
(所属学会) 日本リスク学会 理事（～2024年6月） 日本原子力学会 倫理委員会委員，次期軽水炉の技術要件検討ワーキンググループ（フェーズ2）委員 日本保健物理学会 放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会委員 科学社会学会，科学技術社会論学会，日本自然災害学会 Society for Risk Analysis, Society for Social Studies of Science				
(社会貢献活動) うめだ南トラ研究会 一般社団法人複合リスク学際研究・協働ネットワーク理事 GLOBAL2024プログラム委員 日本原子力研究開発機構高速炉研究開発DX化検討委員会委員 関西原子力懇談会安全評価技術・基準体系に関する調査・検討委員会委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 日本原子力学会リスク部会 奨励賞（2024年9月）				

■ 中 間 千香子

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 環境過敏症の発症因子についての質問票調査	共同	2024年 6 月 9 日	日本臨床環境医学会	第32回 日本臨床環境医学会学術集会 (倉敷市)
Onset factors of environmental hypersensitivity from questionnaire survey	共同	2024年 7 月 8 日	Society of Indoor Air Quality and Climate	Indoor Air 2024 (Honolulu, USA)
(招待講演) 高石市、(株)ボラリス、大阪経済大学・関西医科大学との研究について	共同	2024年 2 月14日	高石市	介護事業所向けセミナー (高石市)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会 科学研究費助成事業・基盤研究 (C)	代表	2024～2028年度	1,900 (3,500)	特定保健指導でのウェアラブルデバイスによる運動量モニタリングと指導プログラム開発
日本学術振興会 科学研究費助成事業・基盤研究 (B)	分担	2021～2025年度	650 (13,000)	ミトコンドリア機能低下指標 GDF-15はサルコペニア及び動脈硬化進展を予知するか
近畿大学学内助成金 21世紀研究開発奨励金	分担	2024～2027年度	1,390 (2,490)	泉北ニュータウンにおける QOL 向上のための健康指標とまちづくりモデルの構築
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公衆衛生学会 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本老年医学会				
(社会貢献活動) 高石市との共同研究「自立支援特化型デイサービス事業における社会保障費抑制等の効果検証」 2024年 9 月～				

■ 福 井 敬 祐

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 保健・医療におけるシステマティックレビューとメタアナリシス	分担執筆	2024年12月	大修館書店	天笠志保, 本田貴紀, 陳三妹, 門間陽樹, 川上諒子編集, 第11章-14章担当
(学術論文) Long-term outcomes of endoscopic resection of superficial esophageal squamous cell carcinoma in late-elderly patients	共著	2024年10月	wiley	Katsunori Matsueda, Seiji Kawano, Keisuke Fukui, Shoichiro Hirata, Takuya Satomi, Shoko Inoo, Kenta Hamada, Yoshiyasu Kono, Masaya Iwamuro, Yoshiro Kawahara, Motoyuki Otsuka, Journal of gastroenterology and hepatology, 39(12). (査読有)
Flexible detection of birth cohort effects on cancer mortality	共著	2024年 6 月	KES international	Masayoshi Ishihara, Keisuke Fukui, Tetsuji Tonda, Intelligent Decision Technologies. (査読有)
(その他、論考・研究資料等) がん検診受診率の推計に関する研究	共著	2024年 5 月	厚生労働省	伊藤ゆり・福井敬祐・片野田耕太・岡愛実子, 厚生労働科学研究費補助金 (がん対策推進総合研究事業) 分担研究報告書 (査読無)
大腸がんにおける経時変動分析を用いた記述疫学的研究	単著	2024年 5 月	厚生労働省	福井敬祐, 厚生労働科学研究費補助金 (がん対策推進総合研究事業) 分担研究報告書 (査読無)
最終アウトカム (生存率) の格差計測に必要な生命表の整備	共著	2024年 5 月	厚生労働省	福井敬祐, 片岡葵, 土本朱莉, 厚生労働科学研究費補助金 (がん対策推進総合研究事業) 分担研究報告書 (査読無)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 日本における社会経済指標別純生存率の推定のための生命表の作成	共同	2024年10月31日	日本公衆衛生学会	第83回 日本公衆衛生学会総会 (北海道札幌市)
Flexible detection of birth cohort effects on cancer mortality	共同	2024年 6 月21日	KES international	The 16th International KES Conference on Intelligent Decision Technologie (Portuga, online)
(招待講演) 生存率の種類と算出方法	単独	2024年 6 月13日	日本がん登録協議会	日本がん登録協議会第33回学術集会 (鳥根県出雲市)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2024年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・若手研究	代表	2021~2024年	1,300 (4,420)	Microsimulation model による都道府県のがん対策支援ツール開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 C	分担	2024~2028年	180 (720)	空間疫学モデルを利用した多様な出生コホート効果の検出法の開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 C	分担	2024~2028年	100 (400)	社会経済格差をふまえた保険者別向老期における孤立予防の地域デビュー促進の実装研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 C	分担	2023~2027年	30 (200)	社会経済格差をふまえた保険者別向老期における孤立予防の地域デビュー促進の実装研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 C	分担	2022~2025年	200 (800)	大腸がんリスク評価のためのマイクロシミュレーションの精緻化と改良
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 C	分担	2022~2024年	350 (1,100)	傾向スコアマッチング・症例対照研究・モデル解析を用いた肺癌 CT 個別化検診の確立

文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	分担	2020～2024年	100（500）	Fused-lassoによる広島・長崎の被爆に関する時空間リスク推定モデルの開発
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023～2025年	450（1,350）	がん対策の年齢調整死亡率・罹患率に与える影響と要因に関する研究
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023～2025年	700（2,100）	がん検診受診率の妥当性評価のための研究
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023～2025年	300（900）	がん対策における格差の要因の解明及び評価手法の確立に資する研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本統計学会				
日本疫学会				
日本公衆衛生学会				
日本癌学会				
(社会貢献活動)				
2025年度統計関連学会 実行委員				
日本疫学会 広報委員会 メディア連携WG委員				
日本統計学会 和文誌編集委員会委員				
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 客員准教授				
広島大学 情報科学部 客員准教授				
タキイ種苗株式会社 データ分析アドバイザー				
東広島市データ分析アドバイザー				
大阪府ヘルスアップ支援会議有識者 委員				
広島県公民健康保険団体連合会 保険事業支援・評価委員会 委員				

研究業績書（大学院生用）

氏名	著書、学術論文等の名称	分担執筆 単著・共著	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
【学術論文】					
染矢 晴加	家具衝突時の頭部・胸部骨折に関する有限要素解析 ― 人体体格差や家具前面扉の影響 ―	共著	2024年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集, 45巻, p.9-16, <u>染矢晴加</u> , 伊藤大輔（査読有）
岩本 乃蒼	大学生を対象とした災害報道版クロスロードの試行	共著	2024.12.24. accepted	社会安全学部	社会安全学部研究, 第15巻, 近藤誠司・岩本乃蒼, 査読なし（研究ノート）
高橋 佑介	避難開始における論理的判断と直感的判断の関係に注目した災害体験を伝える文書分析	共著	2024年6月8日	土木学会	土木学会論文集, Vol.80, No.13, 23-13101, 高橋佑介, 奥村与志弘, 査読有, 地震工学論文奨励賞
	避難開始における論理的判断と直感的判断の関係に関する津波避難シミュレーション	共著	2024年9月11日	土木学会	第44地震工学研究発表会講演論文集, A24-400, 6 p, 高橋佑介, 土肥裕史, 奥村与志弘
	新聞記事を用いた令和6年能登半島地震津波における住民の避難行動調査	共著	2024年9月11日	土木学会	第44地震工学研究発表会講演論文集, A24-402, 5 p, 久世真侑子, 奥村与志弘, 高橋佑介,
山崎 健司	令和5年7月豪雨により浸水被害を受けた秋田市内の福祉施設の避難行動	共著	2024年12月19日	土木学会四国支部	令和6年度自然災害フォーラム論文集, 29-36, 金井純子, 中野晋, 西村実穂, 山崎健司
大野 雅人	リスクマネジメントの視点から見た東京一極集中是正 ― アクサ生命による札幌本社設立の事例 ―	単著	2024年5月	日本リスクマネジメント学会	危険と管理 第55号, pp.188-211（査読有）
	リスクマネジメントの視点からみた地方創生政策 ― 北海道上士幌町の事例からの一考察 ―	単著	2024年10月	地域活性学会	地域活性研究 Vol.21, pp.71-80（査読有）
	「全国総合開発計画」時代の「首都機能移転」はなぜ実現しなかったのか？ ― リスクマネジメントの視点から見た国土計画の変遷 ―	単著	2025年3月掲載予定（掲載決定日）2024年8月19日	関西大学社会安全研究科	社会安全学研究 第15巻, 冊子体刊行前 Web 掲載（査読有）
	中小企業における企業価値向上要請と新たなリスク・BCPについての考察	共著	2024年7月	(財)リスクマネジメント協会	大野雅人, 木下忠夫, 狐塚英毅, 中村喜昭 TODAY 年次大会特別号 研究論文集2024, pp.22-29
小野 梓	鉄道事業者における安全文化の醸成に関する一考察（査読付）	単独	2024年3月	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会誌第31号, pp.23-35.
Wongsuriyanan, C.	Group Evacuation Experiment of Visually Impaired Students.	共著	2024年8月	社会安全研究センター	Journal of Societal Safety Sciences, 15, open online（査読有）（Wongsuriyanan, C. & Tsuchida, S.）
チスワカ チルンバ クリオン	Understanding the Compound Risk Context of Goma City Through the Pressure and Release Model	共著	2024年8月	Fuji Techonogy Press	Journal of Disaster Research, 19(4), pp.656-665. (C.Tshiswaka-Tshilumba と共著) 査読有
ドミンゴス ブラザオン	Why Are Community-Based Early Warning Systems Inadequate? A Case Study of the Licungo River Basin, in Mozambique	共著	2024年9月	IDRiM Society	IDRiM Jounal, 14(2) (B. Domingos と共著) 査読有
【その他、論考・研究資料等】					
楊 東昇	2021年7月河南省水害における避難行動の調査結果	共著	2024年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集No.54（2024）, 越山健治, 41-44頁
氏名	発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
【学会発表】					
王 辰越	高槻市富田町における子ども食堂の食育活動の事例の検討	共同	2024年8月24日	日本社会医学会	第65回日本社会医学会総会, 久留米大学医学部

黒田さくら	ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その1） ―学芸員の活動から―	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会，札幌コンベンションセンター
	ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その2） ―地域固有性の観点から―	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会，札幌コンベンションセンター
	ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その3） ―近畿地方の特殊な歴史―	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会，札幌コンベンションセンター
	気象レーダーによる解析雨量およびその予測値と実測雨量の比較に基づく精度検証	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	黒田さくら，小山倫史，浅井奏音，宮崎祐輔，山口弘誠，岸田潔，第59地盤工学研究発表会講演概要集，2024，Paper ID: 25-12-4-08，pp.1-2（北海道旭川市）
	気象レーダーによる解析雨量およびその予測値とテレメータ雨量の比較	共同	2024年11月29日	地盤工学会関西支部	黒田さくら，小山倫史，浅井奏音，宮崎祐輔，山口弘誠，岸田潔，Kansai Geo-Symposium 2024 ―地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム― 論文集，pp.66-70（関西大学，大阪府吹田市）（査読有り）。
染矢 晴加	家具衝突時の頭部・胸部骨折に関する有限要素解析 ―人体体格差や家具前面扉の影響―	共同	2024年11月16日	地域安全学会	第55回（2024年度）地域安全学会研究発表会（秋季），静岡市
原 幸平	自己組織化マップを用いた金沢城文化財石垣の変状要因の分析	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	原幸平，小山倫史，山中稔，北野博司，西田郁乃，富田和気夫，第59地盤工学研究発表会講演概要集，2024，Paper ID: DS-5-08，pp.1-2（北海道旭川市）
	自己組織化マップを用いた令和6年能登半島地震に伴う金沢城文化財石垣の被害の分析	共同	2024年7月23～26日	地盤工学会	小山倫史，原幸平，山中稔，北野博司，西田郁乃，富田和気夫，第59地盤工学研究発表会講演概要集，2024，Paper ID: DS-5-09，pp.1-2（北海道旭川市）
	画像処理による金沢城文化財石垣の崩落石材同定の開発	共同	2024年11月29日	地盤工学会関西支部	原幸平， <u>小山倫史</u> ，山中稔，西田郁乃，富田和気夫，Kansai Geo-Symposium 2024 ―地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム― 論文集，pp.71-76（関西大学，大阪府吹田市）（査読有り）。
八木 亮介	介護サービス受給者に注目した東日本大震災時の気仙沼市の災害関連死の特徴	共同	2024年12月5日	東京大学他	八木亮介，奥村与志弘，第14回巨大津波災害に関する合同研究集会，海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）。
李 昊程	中国における地震災害と交通事故の横断的分析	共同	2024年12月5日	東京大学他	李昊程，奥村与志弘，第14回巨大津波災害に関する合同研究集会，海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）。
岡田 小雪	鉄道用非常ボタンによる通報行動の抑制要因 ―鉄道利用者の意識調査を通じて―	共同	2024年1月	日本セーフティプロモーション学会	第17回学術大会 於長岡京市生涯学習センター
	駅ホーム及び列車内非常ボタンの認知度と通報行動への詳細な影響要因抽出の試み	共同	2024年6月	日本交通心理学会	第89回大会 於福岡工業大学
高橋 佑介	避難開始の論理的判断と直感的判断の違いを考慮した避難行動開始のタイミングに関する一考察	共同	2024年3月20日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会	高橋佑介，奥村与志弘，東日本大震災・原子力災害 第2回学術研究集会，pp.151-152，2024年3月20日，コラッセふくしま（福島県福島市）
	津波からの避難開始における論理判断型住民が直感判断型住民に与える影響の分析	共同	2024年12月6日	東京大学他	高橋佑介，土肥裕史，奥村与志弘，第14回巨大津波災害に関する合同研究集会，海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）。
前野 友志	ハンセン病療養所・外島保養院（大阪）の開設・移転経緯の検討 ―都市における共生社会の課題を考える―	単独	2024年8月24日	日本社会医学会	第65回日本社会医学会総会，久留米大学医学部
	ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その1） ―学芸員の活動から―	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会，札幌コンベンションセンター
	ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その2） ―地域固有性の観点から―	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会，札幌コンベンションセンター

研究業績書（大学院生）

山崎 健司	ハンセン病療養所における普及啓発活動の調査報告（その3）——近畿地方の特殊な歴史——	共同	2024年10月30日	日本公衆衛生学会	第83回日本公衆衛生学会総会，札幌コンベンションセンター
	東日本大震災における気仙沼市の関連死発生プロセス	共同	2023年3月17日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会	東日本大震災・原子力災害 第2回学術研究集会，pp.125-126，山崎健司，奥村与志弘，コラッセふくしま（福島県福島市）
	生活拠点別に見た災害関連死の特性分析	共同	2024年12月5日	東京大学他	第14回巨大津波災害に関する合同研究集会，山崎健司，奥村与志弘，海洋研究開発機構横浜研究所（神奈川県横浜市）。
小野 梓	安全に関する知見は経理倫理・リスクマネジメントに活用できるか？	単独	2024年2月17日	日本経営倫理学会 クライシスマネジメント研究部会	日本経営倫理学会クライシスマネジメント研究部会での研究報告，於 関西大学 東京センター（東京）
	安全を実現するためのチームング，心理的安全性及び支援型のリーダーシップ	単独	2024年6月28日	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会研究発表大会での研究報告，於 関西大学（大阪）
	鉄道事業者の安全の推進に資するリーダーシップと組織風土の探究 JR西日本の事例を通じた一考察	単独	2024年9月12日	日本経営倫理学会 CSR研究部会	日本経営倫理学会CSR研究部会での研究報告，於 オンライン発表
野元 颯馬	Panic Behaviors in Natural Disaster: A psychological experiment with VR system in northern Thailand.	共同	2024年12月9日（CST）	The Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Annual meeting 2024 [Austin, USA] (S. Tsuchida, K. Kono, T. Sararit, S. Nomoto, C. Wongsuriyanan, K. Urayama, T. Shizuma)
林 昭信	事業承継の新潮流 新大阪中之島サンドの事例	単独	2024年6月15日	日本リスクマネジメント学会	関西部会 高槻ミュージックキャンパス M706
浦山 郁	福島第一原子力発電所の廃炉作業への態度構造に関する研究——リスク認知及び信頼の規定因と感情的イメージ——	共同	2024年3月19日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会実行委員会	東日本大震災・原子力災害 第2回 学術研究集会，コラッセふくしま（浦山郁・土田昭司）
	リスクの不確実性（uncertainty）と多義性（amiguity）に対する市民の捉え方に関する整理	共同	2024年11月16日	日本リスク学会	日本リスク学会第37回年次大会，静岡県立大学草薙キャンパス（浦山郁・土田昭司）
	Panic behaviors in natural disaster: A psychological experiment with VR system in northern Thailand	共同	2024年12月9日（CST）	Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis Annual Meeting 2024, Austin, Texas (Tsuchida, S., Kono, K., Sararit, T., Nomoto, S., Wongsuriyanan, C., Urayama, K., Shizuma, T.)
Wongsuriyanan, C.	Panic Behaviors in Natural Disaster: A psychological experiment with VR system in northern Thailand.	共同	2024年12月9日（CST）	The Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Annual meeting 2024 [Austin, USA] (S. Tsuchida, K. Kono, T. Sararit, S. Nomoto, C. Wongsuriyanan, K. Urayama, T. Shizuma)
【招待講演】					
大野 雅人	アクサ日本進出の30年，アクサはなぜ札幌に本社を構築したのか？	単独	2024年6月14日	関西大学経済・政治研究所	関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班，於関西大学社高槻ミュージックキャンパス
小野 梓	JR西日本のグループガバナンス	単独	2024年5月28日	関西大学社会安全学部	寄附講座「企業の社会的責任と消費者教育」における招聘講演，於 同大学高槻ミュージックキャンパス（大阪）
林 昭信	親族外事業承継とファイナンス——経営者保証の事例研究——	単独	2024年2月28日	関西大学経済・政治研究所	関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班公開セミナー 高槻ミュージックキャンパス
以下，フリー記入					
【所属学会】					
王 辰越	日本社会医学会 日本公衆衛生学会				
黒田さくら	地盤工学会				
原 幸平	土木学会 地盤工学会				
岩本 乃蒼	日本災害情報学会，日本災害復興学会				
岡田 小雪	日本交通心理学会				
高橋 佑介	日本土木学会				

前野 友志	日本社会医学会 日本公衆衛生学会
松尾 規子	日本心理学会, 日本トラウマティックストレス学会
大野 雅人	日本リスクマネジメント学会 日本都市計画学会 地域活性学会 日本気象学会 日本観光研究学会 北海道地域観光学会
岸上 剛	日本リスクマネジメント学会
三浦 崇	日本リスクマネジメント学会 情報ディレクトリ学会
小野 梓	日本経営倫理学会
野元 颯馬	日本災害情報学会
林 昭信	日本リスクマネジメント学会 事業承継学会 ファミリービジネス学会
浦山 郁	日本原子力学会 日本社会心理学会 日本リスク学会
【社会貢献活動】	
大野 雅人	北海道強靱化計画有識者懇談会委員 2024年1月～2025年3月 北海道大学公共政策学研究センター研究員 2024年4月～2025年3月 北海道土幌町SDGsアンバサダー 2024年7月～現在 2024 全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議 自治体セッションメンバー 2024年7月10日 人事院北海道地区課長研修「リスクマネジメント」講師 2024年8月22日 国土交通省北海道開発局「クライシスコミュニケーションセミナー」講師 2024年10月11日 札幌管区気象台防災プロジェクト講師（社会福祉法人 北海道社会福祉事業団「気象防災について」） 2024年10月10日
浦山 郁	（一般社団）日本リスク学会, 「リスクコミュニケーション事例研究」タスクグループ・メンバー
【その他業績として記載を希望する事項】	
大野 雅人	（財）リスクマネジメント協会会員 BCP・BCM研究会メンバー （社）日本気象予報士会会員 （社）レジリエンス協会会員 日本防災士機構会員
野元 颯馬	大精協看護専門学校 看護科（情報の科学〔非常勤講師〕） 大阪保健福祉専門学校 社会福祉科（心理学の基礎, 心理学と心理的支援〔非常勤講師〕） 関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト 次世代博士研究員（国立研究開発法人科学技術振興機構 次世代研究者挑戦的研究プログラム 関西大学 SPRING スカラシップ研究学生）
林 昭信	関西大学 経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 准研究員
浦山 郁	日本リスク学会第37回年次大会, 静岡県立大学草薙キャンパス（2024年11月17日）企画セッション・ワークショップ「リスクコミュニケーション評価の視点と枠組みについて考える（土田昭司, 竹田宜人, 桑垣玲子, 堀越秀彦, 藤井中, 佐田務, 浦山 郁, 静間健人, 中山敬太）」においてファシリテーターとして参加した 京都橘大学 総合心理学部総合心理学科 助教〔常勤〕（2024年11月1日より） 甲南女子大学 人間科学部心理学科（心理調査法実習, 心理学統計法Ⅱ〔非常勤講師〕） 神戸親和大学（神戸親和女子大学）文学部心理学科／国際文化学科（情報と統計, 心理学実験・実習B〔非常勤講師〕）